職工鑛夫の養成

卅六工場、十五鑛山指定

生産力擴充はまづ一騎當千の職工、鑛夫など優秀な産業戰士の大量養成にある―と總督府では「工場事業場技能者養成令」を發動して昭和十八年度中に左記の通り全鮮から有力な卅六工場及び十五鑛山を指定、優良中堅職工、鑛夫などを最少限度一千四百餘名養成するやう命令した、指定を受けた各工場鑛山では總督府の指揮に從つて決戰下何時でもお役に立つ〝鑛後の兵隊〟産業戰士を三ケ年内に鍛へ上げるが、これ等技能者養成に要する費用は當局から補助される

工場　三菱製鋼仁川製作所▲龍山工作永登浦工場▲朝鮮機械製作所仁川工場▲朝鮮計器▲朝鮮重機製作所▲京城電氣▲東京芝浦電氣仁川工場▲日立製作所仁川工場▲關東機械製作所京城工場▲小林鑛業京城製鍊所▲日本精工京城工場▲朝鮮製鋼所▲朝鮮理研金屬仁川工場▲朝鮮アルミニユウム工業▲朝鮮製鍊長項製鍊所▲朝鮮重工業釜山工場▲朝鮮金屬工業▲朝鮮電氣製鋼▲朝鮮セメント海州製鋼工場▲日本製鐵兼二浦製鐵所▲西鮮重工業▲三井鑛山朝鮮飛行機製作所▲日本鑛業鎭南浦製鍊所▲朝鮮理研金屬鎭南浦工場▲朝鮮高工平壤兵工所▲三菱マグネシウム工業▲日窒鑛業開發興南製鍊所▲日本窒素肥料興南工場▲北鮮製鋼所▲住友本社朝鮮鑛業所元山製鍊所▲三菱鑛業清津製鍊所▲日本窒素肥料永安工場▲日本製鐵清津製鋼所▲日本高周波重工業城津工場▲朝鮮人造石油阿吾地工場、計三六工場

鑛山　▲日本鑛業甕津鑛山▲明治鑛業沙里院炭礦▲小林鑛業百年鑛山▲朝鮮無煙炭江東炭坑▲日本鑛業成興鑛山▲日窒鑛業開發咸興鑛業所▲日本鑛業雲山鑛山▲日本鑛業大楡洞鑛山▲三陟開發三陟炭礦▲朝鮮電力寧越鑛業所▲大東鑛業高原鑛業所▲利原鐵山利原鑛山▲茂山鐵鑛開發茂山鑛山▲朝鮮有煙炭古乾原鑛業所▲朝鮮人造石油阿吾地鑛業所計一五鑛山

半島、青島の物資交流
關係官民懇談會

青島と半島との物資交流を促進するため、東亞貿易會社主催のもとに八、九の兩日三菱商事京城支店會議室に鮮華經濟提携懇談會を開催、青島側から青島領事館經濟部關係官、山東輸出入組合聯合會役員ほか業者代表約廿名、朝鮮側より横瀬東貿社長以下同社幹部三井、三菱、三興、各輸出組合代表者および在城有力輸出商社代表者が出席

青島側よりは當面の不足物資たる生鮮食料品、布帛製品、日用品等の青島向け輸出促進に對する希望意見を開陳、一方朝鮮側からは石炭、落花生、唐辛子、アンペラ、漿等の朝鮮向け輸出圓滑化について懇談することになつてゐる

輕金屬打合會

輕金屬統制會朝鮮支部では三、四兩日總督府第四會議室に會員工場七社の代表者廿五名の出席を求め第一日はアルミニユーム、第二日はマグネシウムにつき夫々十八年度生産計畫とこれに伴ふ原材料、勞務、配力、輸送關係につき協議打合せを遂げたが總督府側からも上瀧殖産局長、兵頭企劃部長、山名商工課長、陸海軍御用係らが臨席、決戰下航空機産業の一たる輕金屬の増産確保につき種々要望した

住宅營團評議員會

朝鮮住宅營團の新年度事業について、來月下旬開催の評議員會に附議すべく目下準備中であるが大體本年度同營團は二千萬圓を以つて五千戸を新築の豫定で、うち京畿道内に二千五百戸、平南北、咸南北、忠南、慶南北合せて二千五百戸を建設の見込みである

飽くまで國民の忠誠心に信頼
衆議院豫算總會　首相重ねて言明

【東京電話】四日午後の衆議院豫算總會は一時十七分開會

伊豆富人氏（熊本）　首相は機構よりも人だといはれたがその意義如何

首相　この大戰爭に勝つためには行政機能を再高度に發揮することが必要である、機構の改革も必要ならば實行する、しかし行政特例法は人を働かせてゐる目的を達成せしめたいと考へてのである

伊豆氏　機構改革は絶對に行はない方針なりや

首相　私は必要な機構の改革は實行して來てゐる、行政簡素化大東亞省の設置はこれである、戰時行政職權特例、行政特令法、許可認可臨時措置法に關聯して行政機構を改革することは考へてゐない

伊豆氏　首相の指示權はこれにより所管各省大臣をして資材勞働、資金など關係各省當局を指揮せしめるのであるか

森山法制局長官　特例法案は例へば關税法による船舶入港の制限、深夜業の禁止、水先案内の年齢制限などの撤廢などを行ふものである、次に行政職權特例は彈力性のある運用が出來るやうになつてゐて首相の最善と考へる措置が出來る

伊豆氏　國民精神昂揚のため情報局の機構を簡素化し民間の意見を十分聽取してはどうか

首相　政府も國民精神の昂揚に全力を盡し、このため宣傳の中心である情報局は缺點もあらうが現制度は大體これでいいのでないかと考へてゐる、民間の意見を接取することには十分注意を拂つてゐる

伊豆氏　新聞の重要性にかんがみその役割と性格に關する所見を承りたい

谷情報局總裁　新聞についても編輯と經營の分離説があり研究はしてゐるが方針は決定してゐない

伊豆氏　新聞に對する國家保護は強化すべきである、紙の配給は今後さらに減少するか、また新聞の國土計畫に對する所信如何

谷總裁　新聞用紙の配給を急に減ずるやうなことはないと考へるが、今後長く現状をもつて進み得るか否かは疑問である、新聞の國土計畫はあるひは將來實行することがあるかも知れない

伊豆氏　企業整備による餘剩人員は如何に轉換させてゐるか

商相　重工業部門に轉換せしめるのが一番である、しかし適性については問題があるので大陸へでも進出させる、また一部は南方へも振向ける、しかし南方へ行く數は作戰遂行中の現在嚴然制約を受け、また指導民族たるに相應しい素質が必要である

坂本氏　首相の權限の強化につき民間は獨裁主義を是正し得るや否やを憂へてゐるが如何

首相　閣議若くは首相の意思が行政的に隅々まで徹底することを私は理想としてゐる、現實はなかなかさうは參らぬ、しかし國家として決つたことには私も閣僚も責任をもつて徹底させて行く、また國際情勢の變化に應じ戰爭指導も國內態勢強化も變化して行かねばならぬ、今回の行政職權は閣議を經て樞密院の御諮詢を經て決定してゐる、官吏の中でこれに反對の者は一名もないと信ずる、苟くも操縦する以上は實效をあげる自信を持つてゐる

本領信治郎氏（東京）　國家の機動には積極的奉公心を發揮せしめぬ用意が必要である、自覺せる企業者には強權的統制を排し生産を委せては如何

首相　一昨年長くも開戰の御決意を遊ばされた際に、私が最も心を痛めたことは現在すでに確保した戰略要點を當時果して全部確實にとれるかどうかといふことであつた、もう一つは國内を如何に指導するかであつた、すなはち全國に戒嚴令を布くか忠誠心に信頼するかであつた、私は忠誠心に信頼することが正しいと信じそれを實行して來た、私は今日も強權を避け國民の忠誠心に頼ることが日本的なやり方であると信ずる、昭和十八年は相當深刻な局面に進むかも知れぬと私は考へてゐるが、私は忠誠心に信頼して進む、しかし作戰の要求に對しては強權の發動を必要とする場合もある、生産の増強については政府は大綱を押して監督する、細部はこれを企業責任者に委せ彈力ある指導を行ふ

薩摩雄次氏（福井）　國民政府參戰後支那事變處理の根本方針は變化したか

首相　大東亞戰爭以來支那事變處理方針は一變した、すなはち支那から全面的に米英を驅逐することになつた、しかし國府の參戰によつて支那をどう扱ふかの根本方針は不變である、支那は戰爭の有無に拘らず弟であると考へてゐる、但し蔣介石は別だ、蔣は米英の傀儡だからである

薩摩氏と首相の間に別項の如き半島人の精神訓練問題につき一問一答あり

薩摩氏　國務大臣には憲法第五十條の輔弼の責任以外に行政責任ありや、國務大臣の責任を明確にされたい

森山法制局長　輔弼の責任と行政責任とは明確に區別がある、わが憲法では天皇は行政各部の官制を定められ、行政事務を行政長官をして行はしめられてゐる、これに對して行政上の責任が存ずるのである、輔弼の責任はこれとは別である

首相　長官の説明の通りである

國務大臣として輔弼の責任があり他面行政大臣としての責任もあるのである、軍部大臣にはもう一つ帷幄の參畫者たる責任がある、しかしてこの區別には大きな意義がある、同一人ではあるが觀念としては明確に區別がありこれを區別して行ける人が國務大臣になつてゐると考へる

かくて午後五時五十五分散會

朝鮮聯盟經濟委員會

國民總力朝鮮聯盟經濟委員會は來る八日午後一時三十分から遞信事業會館に初顔合せの委員會を開催、十八年度事業計畫につき協議する

京電の定時總會

京城電氣では來る廿七日東京において第六十九回定時株主總會を開催、當期利益金處分案（配當年一割維持）ならびに取締役一名補選（前社長武者錬三氏に慰勞金贈呈の件とゝもに附議する

産業設備債券
四千萬圓を募集

【東京電話】興銀では三日政府保證産業設備債券（第三回）四千萬圓ならびに昭和精工所第十一社債五百萬圓の募集條件を左の如く發表したが市場公募は各二百萬圓である

▲條件　産業設備債券四分二厘九十九圓五十錢、十二年、拂込期日二月廿五日　昭和精工所社債四分三厘九十九圓二十五錢、十年、拂込期日二月廿七日

日糖聯機構改革
新たに會長制を設置

【東京電話】日本糖業聯合會では二日臨時總會を開き大東亞共榮圈確立に伴ふ新糖業事情に對處すべき機構改革を左の如く決定した、すなはち從來執行機關として理事長會、常務理事決議機關として理事會をもつて構成する理事會制をとつてゐたが、今回これを執行機關として新たに會長制を設け輔佐機關として理事長一名、理事二名、幹事一名を置き執行機關の強化をはかると共に決議機關も會員をもつて構成する協議會制に改めたもので初代會長は大日本製糖社長（藤山愛一郎氏）が兼務し理事長には常務理事中瀨拙夫氏がそれぞれ就任した

需給状況は順調に進展してゐる、しかしてマライにおける米は從來より約三分の二不足であるが極力輸入の節減に努むるため畑作の増産を圖るとともに消費の規正を徹底しさらに不足する分をビルマ、泰、ジャワより輸入する計畫にて進んでゐる、スマトラにおける米は從來より約十分の一不足であるがこれは稻製の増産消費規正に徹するとともに若干はジャワより輸入する計畫である

ジャワは米及び雜穀（玉蜀黍、かつさば等）とも輸出餘力があり、これが餘力は他の不足地に輸出する計畫である、ビルマにおける米の輸出餘力は莫大であつてマライ地區等に輸出するほか餘力は現地において貯藏するのほかこれが用途に關し研究中である、ヒリツピンにおける米は若干不足であるが棉花栽培の生産は極めて良結果を收めつゝあるので消費規正と相俟ち近き將來においては自給自足の域に達し得るものと見られる

ける食糧の消費規正であり最も效果的な食糧對策でなからうか

第五回恩給法律案特別委員會

【東京電話】陸接する滿洲國境地域における發電工事その他總合開發促進などの諸工事を圓滑に運用せしめ工事資材などの移出入につき關税法の適用を除外する大正九年法律第五十三號中改正法律案は四日の貴族院第五回恩給法中改正法律案特別委員會において衆議院送附案と共に可決、五日の貴族院本會議に上程されることになつた

南方陸軍軍政の進展【4】
食糧、農村の對策
現地自活に徹底せしむ

（三）農村資源　農村資源に關しては南方地域は眞に世界の寶庫とも稱すべき護謨をはじめチーク材、コプラ、パーム油、キニーネ、マニラ麻、砂糖などの生産量は莫大であつてその交流可能なるにおいては勿論東亞圈内の需要を充して餘りがある、しかして前にも述べた通りこれら特産物は消極的産の處置をとることなく生産力の維持に努め將來世界における經濟的優位確保に資せしめんとしてゐる、しかしてこれがためには樞軸國に對する供給は勿論新用途の開拓に關しても鋭意努力中である、護謨に關してはガソリン轉換は現地においてすでに實用の域に達し、また潤滑油生産もすでに實用化せんとするの状況にある、砂糖においても比島およびジャワにおける糖業は大東亞の現需要に比し著るしく過剩であるが激産などの方法によることなくこれを活用して國家の急需たる航空燃料の原料たるブタノールおよび自動車用燃料アルコールなどの製造原料に充當を企圖してゐるので比島においては甘蔗用耕作地の一部を棉作などへ轉換してゐるが將來豫定ブタノール設備の完成したる曉においては砂糖の需要はむしろかへつて増産を必要とするに非ずやと考へてゐる

コプラ、パーム油、キニーネなどもその重要性に鑑みすでに開發あるひは集荷擔當者を進出せしめ、さらに現住民をも充分に活用しこれが開發に努力中である、大東亞における不足資源たる棉花に關しては速かに南方において培養を圖るため差當り綿棉數百萬ピクルの出廻りを確保することを目標としヒリツピンおよびビルマ、ジャワ、北ボルネオなどの地域を選び増産實行中である

（四）食糧　南方地域における軍需民需の食糧對策はすべて現地自活に徹底し内地よりの追送を絶無たらしむる方針のもとに實施してゐる、これがため不足品は現地相互間の交流を行ひ、あるひは増産を圖りあるひはまた代用品の利用に努め、現地において取得困難なる種子、原材料などのみ一部は追送を實施し着々その成果を收め

石油の專賣制令
半島は四月早々公布

内地の石油專賣實施に順應して朝鮮でも來る七月一日より石油專賣を實施することゝなつてゐるが、これがため總督府では四月早々『石油專賣令』を制令として公布すべく目下專賣局たる殖産局燃料課で鋭意準備を進めてゐる

石油專賣實施に當つては殖産局の監督の下に現在の鮮内石油販賣機構の中心たる朝鮮石油統制會社をして實際の販賣配給業務に當らしめ、更に同會社の特約販賣店卅二店を通じて小賣販賣配給を行ふことゝなつてゐるが右の石油專賣實施のため殖産局燃料課では技師及び技手二十名を増員する豫定でこれに伴ふ官制改正の勅令も同時に公布される筈である

半島農業の再編成（下）
先づ農民錬成
精神教育が緊急課題

四、農民の精神涵養　農業再編成を推進する最も緊要な問題は半島農民の精神教育にかかつてゐる。これを度外視してゐたのでは、農業勞働の向上も望めない。また職能精神が缺けてゐたのでは、共同作業や共同事業、施設の運營も捗々しく進まないであらう。いくら篤農家を扶植しても恰も佛作つて魂入れずの類に終るであらう。一方地主に對しても同樣なことがいへる。精神的な教育がなかつたならば、そこからは能力が生まれて來る筈がない。故にこの精神教育は、何をさし措いても眞先に手を染めねばならぬ喫緊差し迫つた問題である。

既にこのために農民道場や農民訓練所が設けられてゐるけれどなほ一層この種機關を増やすとか或は各種の計畫または凡ゆる機會を捉へて農民の錬成を進めることにしてゐる。精神教育が徹底した曉には半島農民が農國々民として〔の〕自覺の下に戰ひに勝ち拔くための勢力の途として一意食糧増産に挺身することも期待し得られるだらう。

その秋こそ農業再編成を妨げるあらゆる障碍も乘り越えることが出來るのである。焦眉の急を告げてゐる食糧増産を敢行するに際して、最も手近な方法の鍵である農民の精神教育に特別力を入れてゐる意義はこゝに見出せるのである。

五、派生する諸問題　農業再編成問題の鍵となるのは結局土地と人と肥料の三つであり、而もこの三つが相關々係にある。土地には耕地の整理、水利施設等が施されねばならぬ。また耕種法の改良も行はれねばならぬ。このためには技術者の増員と指導力を備へた中堅農民の養成が伴はねばならない。現に稻作四、畑作六の割合を示し前者は年々向上の跡顯著であり、今こそ内地の反當り二石に對し半島は一石四斗であるけれど、増米計畫（昭和十七年を起點とし同卅年には一千百卅八萬石増、年産三千四百六十三萬石になす）完成の年には内地の反當り收穫とほゞ匹敵する一石九斗になす豫定である。

これに反して畑作は決して感心した成績を擧げてをらないのである。若し畑作が面目一新したならば、半島の食糧問題は可なり緩和する見込である。されば、稻作は勿論のこと畑作に對しても耕種法の改良は急務となつてゐる。いま一つは地力維持のための肥料問題である。金肥入手が窮屈となつてゐる今日、當然綠肥や堆肥等の自給肥料に依存せねばならない。綠肥は計畫通り進んでゐるさうだが堆肥の方は燃料や飼料とも關係があるので、これの増産には厄介な問題が續出して來るのである。例へば木の葉、雜草等の堆肥原料は溫突の燃料に使はれる。こんなことを考へると、田舍の溫突の改良によつて堆肥材料の確保を圖る方法も輕視してはならぬことになる。また現在米穀加工場は主に移出地、集散地に集中してゐる。そこで籾殻加工副産物たる籾殻とか糠等を農村に還元せしむるためには先づこれの地方分散化を圖る必要がある。さうすれば籾のまゝ供出した米穀の加工副産物は容易に農村に還元し、これに伴ひ一擧に飼料や燃料も解決の途がつき同時に堆肥増産も行へるわけである

一口に農業再編成といふけれど全鮮總人口二千四百萬人の七割三分を占むる農民を對象としてゐる計畫だけに、之に附隨して起る問題は範圍が廣く、かつ多岐にわたり其影響の及ぶところは甚だ深大である。それ故にこれの前途は非常に多事多難と見ねばなるまい。

六、農業再編の妥當性　經濟の根本的課題は如何なる時代においても安定と進歩の目標成にあることは變りないのである。當面の問題たる食糧増産を基本的出發點として繰り出た半島農業の再編成も、その本質を突き止めれば結局半島農業の進歩と安定にあるのだ。農業再編成が着々實行されてゆくことは、畢竟これらの課題に對する解決に一歩々々近づいて行くことを意味するのである。從つて農業再編成は經濟の法則に適つてゐると斷言して憚らないのである。

他面總力戰下においては必ず生産力を戰爭目的遂行のために集中することが要求される。次に集中された生産力は維持して行かなければいけない。これを維持するためには集中と併行して育成を考へねばならぬのである。半島の食糧増産を目的とする農業再編成は結局その生産力を戰爭目的のために集中することであり、進んでその育成を考へてのことである。再編成問題の根據は以上で明確にされたことゝ思ふ。

本社寄託獻金
＝三日扱分＝

國防獻金【陸軍】

▲五十圓京城府龍頭町一九九ノ四八金光総▲二十圓京城府古市町三一五谷口光徳▲十圓漢洞公立國民學校二年生山本金玉▲七圓十錢全南羅州郡潘南公立國民學校六年生一同▲六圓八十三錢京城府黑石町山十京城府明水台町會第二區一同三木弘▲五圓清涼國民學校松本寛吉▲三圓四十一錢黑石町山五ノ三六京城府明水台町會▲二圓八錢昌信公立國民學校一年四組宮本禮子▲一圓全南康津郡道巖公立國民學校六年生正木祥子▲六十八錢京城府昌信公立國民學校六年一組桂岡定成

恤兵金【海軍】

▲二十圓京城府本町五ノ四四ノ九徳田ヨシ▲十圓清涼公立國民學校六年生安宅善軍▲六圓五錢清涼公立國民學校六年生松宮光彦

國防獻金累計▲八十五萬二千九百六十九圓　恤兵金累計▲二十一萬六千四百六十八圓八十二錢

總合計百六萬九千四百三十七圓八十二錢

北鮮の開拓農村を視察
小野寺東拓開拓課長談

東拓開拓課長小野寺二郎氏は約二週間にわたり酷寒下にある咸南懸山鐵を中心に北鮮高地帶の開拓農村の活動状況を詳さに視察、この程歸任したが左のごとく語つた

今回北鮮高地帶の極寒期に開拓農村の活動状況を視察に雪原を踏破して來たが零下三十乃至四十度の寒風の中に雄々しくも働き續けてゐる開拓民の姿を親て非常に力強く感じた、特に彼等が肥田の甘夢から醒めて國家非常時局のため率先收穫物の供出をなし官廳係員の當讃の的となつてゐるばかりでなく來るべき農業增産の準備を自主的に實行してゐることには現下朝鮮の農業生産に從事する者の自主的食糧對策の行き方を教へるものがあつた、所は成南惠山郡普天面北鮮開發會社農山事業區である主任の平池隆一氏は曾て北鮮支場試驗農民の指導を自らやつた經驗者であるが、氏の指導の下に開拓民は冬季間の各自の食糧を節約し各人毎日稻穀五勺宛を持ちよりこれを共同保管し今後ますます力をこめてやらねばならぬ開墾および作付作業等食糧が多く要る時期のために貯藏してゐる、この事業區二〇五戸の斯うした節約稻穀は昨年十二月末において十五石三斗九升七合五勺になり今後三月末までの貯穀見込は約四十石となる、これをもつて四月五月の開墾に糧根を繼し引續き作付作業から除草作業まで働く産業戰士の兵糧として確保してゐる、これらは決して有り餘る中から出してゐるのではなく勞働の過激でない冬季間は薯や山菜蔬菜類の落屑で氣を養ひ農家として最も食糧を要する大切な農耕期のために忍苦して貯穀してゐるのだ、この行き方こそ本年の朝鮮農村に起り得る困難のために即時に實行しなければならぬ農村にお

各地大引一覽（四日後場）

銘柄	朝取短期 大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]
満業新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]

銘柄	大阪短期 大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]

銘柄	東株短期 大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

隨想録

これは日露戰爭當時の話であるが、時の戰局打開に當つて、一般から非常に期待されてゐた大官が某月某日京都の旅館に投宿した▲勿論その旅館は憲兵と警官によつて嚴重に護られてゐたが、厳冬の街上に歡呼して立つそれらの人々のことを知つてか、知らずにかその大官は一瞬の羊羹を取出して切るやうに命じた▲ちよつと平民の手には入り難い菓子なので、今頃このやうな品もあるかと感心しながら、女中が切つて差出すと、大官は甘黨であつたと見えて一人でそれを樂しみ乍ら手治の茶を飲んで客舍の無聊を慰する樣子であつた▲事はそれだけで甚だ平凡の如くであつたが、影響は意外に大きかつた。物の不足する今日でも特殊な立場にあれば、羊羹も手に入るらしいと女中に思はせたことは、不平を含めて他に話させる原因になつたのである▲さらに〝鄭戒の兵隊さんやお巡りさんにあげてくれとはれるのかと思つたら、さうではなかつた〟といつたので、下の者に心を配らない人間として評判され、るに至り、折角の人氣が一遍に落ちてしまつた▲米英撃滅に起ち、一億火の玉になつてゐる今日にあつては、この話のやうな人物が高いところに居るとは思はぬし、また居る筈がない。しかし、人間には隙がないとはいへないから何處で誰に批判される行動をとらぬとは限らぬ▲田中政務總監も、民衆を指導するには先づ自ら錬成せよといつてゐる如く、上に立つ者は一擧手一投足も忽しくせず、千丈の堤を蟻によつて崩されるの愚を學ばぬやうにせねばならない。

文藝
現實と詩精神（上）
平沼文甫

昨年中に二冊の國民詩集が半島の詩壇に出た。一つは佐藤清氏の『碧靈集』また一つは金村龍濟氏の『亞細亞詩集』である。ところが、この二つの詩集は同じ時代の空氣を、同じ感情で呼吸してゐる二人の詩人によつて書かれたにも拘らず、互に異つた傾向をもつてゐることが面白い。佐藤氏が靜止と觀照の詩人なら、金村氏は前進と行動の詩人である。然し僕はこの二人の詩人を比較して優劣をあげつらふつもりはないし、佐藤氏の『碧靈集』は、既に多數の人に論ぜられてゐるので、金村氏の『亞細亞詩集』だけに觸れたい。

詩人の感覺は凸レンズか、凹レンズである。微小なものを顯微鏡のやうに擴大して見せるか、大きくて衆目の届かないものを望遠鏡のやうに縮小して見せるかする。杉本長夫氏の『賜入者』は前者に屬し、金村氏の感覺的傾向は後者に屬するだらう。『亞細亞詩集』といふ一寸大袈裟にきこえる題名は、實に氏のこの感覺的傾向を象徴するものである。

大亞細亞を構想したり、揚子江に吼えたり、戰爭を讃美したりした氏の詩篇を讀んで、僕は空疎な感じはなかつた。大きな題材を扱つて空疎な感じを抱かせないのは、詩人の感情の切實を物語るものである。氏の思想と感情は、常に大きな現實に關心をもつてゐる。普通の人が小さい私生活に愛着と關心をもつてゐるやうに、氏は大きな現實を思想し感情してゐる。レベルは氏自身の思想感情の……『大陸詩集』を經驗して『亞細亞詩集』に入つた。現實の動きを詩人的直觀力でとらへたのである。

一つの魂を以て、二つの各異つた觀念時代を生き得るのは、天才か無信仰者のみだとシルレルはいつてゐる。過ぎ去つた時代の主役だつたものが、新しい時代に處し

て過去の信仰を棄てることは容易だが、強く生きることは至難に屬する。それを氏は強く生き得た。氏の良さはそこにある。

今の三十代以上の者は、多少とも自由主義の波をくゞつて來てゐるし、中には、完全にその洗禮を受けてゐる者すらある。そして、ひたひたと押寄せる時局の波に、なほ依然として、その古い衣を脱ぎきれない者さへある。

今にして錬成のことが叫ばれるのは、むしろ遲い感すらあるが、これによつて、今までの安逸に馴れた生活を清算し、嚴しい體驗を自己に加へる機緣となれば、戰ふ肚はおのづから出來る。

（不連續線）戰ふ肚

京の歌壇　古井守恵 選

零下二十度近くなりたる此の日頃溫突焚きて歌ひみ過す　京城　佐藤ミヨ子

かの敵をかならず屠てと呼びつつ兵隊中尉は倒れしと言ふ　咸北　深谷勝

町角をよぎりてゆける人々の歩み大きく見ゆるたそがれ　鎭南浦　上田房枝

この朝け降り出でしまま晴れ間なき雪に子豚の悲しげに鳴く　海南　金澤玉端

まどろみて見し故郷は遙かにて汽車は滿洲野をひた走り居り　仁川　廣瀬貫

【雜詠】二月廿日（土）締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り

〝女性生活と國文學〟講演

梨花女專の記念行事新學年度から在來の英文科を廢して國文科を新設する梨花女子專門學校では國民總力梨花女專聯盟が主催となり、國民總力朝鮮聯盟の後援を得て七日（日）午後一時から京城太平通遞信事業會館講堂で『女性生活と國文學』についての記念講演會を開く

即ち城大の高木市之助、麻生磯次兩教授、津田總聯宣傳部長、文人協會の兪鎭午、金村龍濟の五氏が講演し、特別、古城珠江の兩女流が詩歌の朗讀朗詠をする筈で、各女學校の職員生徒、各專門學校聯盟文化部等招待者に限ることになつてゐる

大相撲映畫

本月初旬に公開される十八年度春場所大相撲記錄映畫の京城封切は都合で來る十五日（月）からとなつた、なほ上映館は豫定通り紅白兩系の封切常設館及び京日文化映畫劇場である

十五日に封切

朝鮮唱劇團

愛樂研究會花郎、唱劇座が合同して新發足した朝鮮唱劇團では五日（金）から四日間府民館で第一回公演を催す、出し物は『沈清傳』五幕七場『春香傳』九幕十九場の二本立て

文化だより

◇服部亮英氏油繪個人展　三越五階畫廊で開催中のところ五日まで日延べ

◇金村龍濟氏『亞細亞詩集』出版記念會　六日（土）午後五時京城長谷川町基督教青年會で開催會費一圓五十錢當日持參のこと

◇『戰ひ抜つのだ增産だ』展　情報局指導、六日（土）から十一日まで京城三越四階催物場で開催

追慕の念深し
偉大な林大將の功績
板垣軍司令官靜かに語る

林銑十郎大將薨去の報は練り深い半島を悲しみに包むが如く、あの瞬々たる眼光と特長のある髭に活動的で、逞しい努力を秘めた高潔な武人の風貌が今更の如くなつかしまれる、第十六代朝鮮軍司令官として着任の直後九月十八日柳條溝の戰端により火蓋が切られたとき、滿洲事變の實戰に推移を警戒させたこの飛報を掴んだ林將軍は直ちに幕僚を召集、慌しい議論の裡にも事態は刻々急を告げるので將軍は救援部隊急派の要を中央に對して電請するとともに、暗かに四圍の國際情勢と現地の情況を綜察、断乎としてひそかに決意するところあり、翌十九日には隷下部隊の嘉村混成旅團及び獨立飛行隊は急遽出動を見たのであるが、鴨綠江を越えるとすぐ中央からの命で一時足踏みの已むなきに至つた將軍の生涯を通じて忘れ得られぬ思ひ出でもあつたであらう、この歴史的なる出動は遂に『越境將軍』の名を以てその後の將軍を呼ぶに至らせた、この越境部隊の來援をひたすらに心待みにしてゐたのが當時關東軍高級參謀の要職にあつた現廿一代朝鮮軍司令官板垣大將であつたのもまさに奇縁である、作戰の秘訣たる機先を制するために、林大將の果斷英行たる増援部隊が如何に心待ちされたかーこれは板垣將軍の當ての滿洲事變回顧談にも見えてゐる、林大將薨去の報に、代は迭つていま朝鮮軍司令官の要職を後繼する板垣將軍は四日午後二時半軍司令官室で案外の報に眼を落し瞑目、しばらくは感慨深げに哀悼の意を表して次の如く語つた

林閣下は陸軍の大先輩で、殊に總理大臣としての御經歴もあられ、非常に國家に御功勞のあつた方であることは、我々が喋々を要しないことである、殊に朝鮮軍司令官として長く在任され滿洲事變の際には朝鮮軍からも軍隊を出動させられたといふ閣下の御勇斷よろしきを得て多大の貢獻をもたらし、その御功績を偲んでは、更に一層哀悼の念を深くする、閣下の偉大なる人格を功績をこゝに追慕してやまない次第である

板垣軍司令官

林大將邸へ弔問の東條首相＝寫眞＝

大の親孝行もの
從弟高木氏が語る故大將

大將の從弟にあたる京城新堂町七六五朝鮮電氣工業學校長高木善人氏は愕然として語つた

昭和十五年の夏私が上京した際お逢ひしたのが最後でした、大將の幼少のころは私は熊本に居た關係で殆んど交渉はなかつたが、朝鮮軍司令官時代は、よく官邸に遊びに行きました、大將は訪問客や使用人には肉親のやうな親しみを與へる人で、日曜などはお客の絶え間がありませんでした、また大將の親孝行にはいつも感心させられました、九十歳になつてゐられる母堂は最近中風のため全く分らない言葉を使ふにもかゝはらず大將はその分らない言葉を熱心に研究して今では何事でも分るやうになつてゐるほどです、これも大將の孝心からだと思ひます

清廉潔白の人
李英介氏語る

林大將に廿年前から寶子のやうに可愛がられ、學資一切を世話になつて今日辯理士として一家を成してゐる京城光化門通一五一辯理士李英介氏（寫眞）は愕然として在りし日の將軍を次のやうに語つた

一時小康を得られてゐると伺ひ御恢復を家中でお祈り申してをりましたのに全く殘念です、私は今から廿年前十六歳のころから將軍には肉親も及ばぬお世話になつてをります、非常に嚴格な將軍も家庭ではやさしい主人であり第二の乃木とまで謂はれた人格高邁な軍人でした、先年組閣の大命を拜した時、いざ組閣となつたが奔走してくれる者が一人もない、そこで令弟白上佑吉氏の部下を動員してやつと間に合せたのでした、將軍にいはせると政治的子分は金をばらまかねば作れないものだ、僕は金もないがそんな不純な精神で結ばれる子分は要らぬといふのでした、まあかういつた典型的な日本軍人でした、殊に半島には御理解が深く、在京半島人にして將軍の門を潜らぬものは一人もないといつてよい位です、また如何に將軍が清廉潔白であつたかは今の住居も令弟白上先生の住居で、そこに同居されてゐることからみても察しられると思ひます

【寫眞＝李英介氏】

〝體育半島〟の强化へ
今年から體振で主催
朝鮮神宮奉贊體育大會

半島の二千四百萬民衆が日ごろ鍛成した體力と精神の成果を神前に奉納の神事奉仕體練祭典である朝鮮神宮奉贊體育大會が、今年から直接總督府の手で主催され、大會の内容とともにその規模においても半島最高の國民鍛成大會に强化されることになつた總督府ではいよ〳〵明年に控へた半島の徴兵制に備へて、その鍛成部門の最も中核をなす健全なる體育の振興へ積極的に乘り出し、强力なる策をつくしてゐるが、先づこれが實踐として朝鮮神宮奉贊體育大會を、昨年まで主催してきた朝鮮體育振興會から接受運營することとし、鍊成課でこれが豫算二萬七千圓を財務局に請求中のところ、さきほどの總督府新年度豫算にみごとに通過、こゝに神宮奉贊體育大會官營の實現をみることになつたものである

かくて民間團體である朝鮮體育協會の手に育てらるゝこと十七年、昨年總督府の體育行政衰退施策と歩調して朝鮮體育振興會が誕生と同時に第十八回同大會は體振に移管され、こゝに十九回目を迎へて總督府の手に劃期的な轉換をみるに至つた

港灣の荷役勞力を强化
紀元節から週間

決戰下海運關係の輻輳に伴ひ現在の港灣施設、荷役勞力など十分考慮の餘地があるのでこれが强化を促進するため昨年十二月一日から本年の三月末までを『戰時港灣施設整備期間』として全國的に實施され、朝鮮でも總督府、遞信局總力聯盟が一體となつて最も强化を必要とする釜山、鎭南浦、仁川、清津の四港ですでに活潑な實踐に移つてゐるがなほ十一日の紀元節を中心に八日から十四日までを特に增强週間として運動に一層の拍車をかけることになつた、さらに運動は前記四港に止まらず漸次木浦、群山、馬山、城津、新義州、羅津等にも及ぼされる筈である

彈丸列車の終端驛
血の線路測量も本月中完了
武久港か下關驛

【下關電話】東京—下關間を九時間でぶつ飛ばす彈丸列車の用地買收は各地共緒につき、東京市内、下關を除くのみとなつたが、鐵道省下關地方施設部では新幹線の測量に力を注ぎ關係員五百米から二千米位の間を略線路定地として水野官補以下約廿名が山に夜を徹し谷に閉ぢこもり晝夜兼行で測量に挺身してゐる、この測量も二月中には終了するので各方面の狀況に照らし、終端驛を檢討し、武久港か、下關驛かそのどちらかが決定されることゝなる模様である

一方關門鐵道トンネル第二線の工事は窮屈な地層に逢着、地盤補强のためセメント注入も行つて來たが、愈よ掘鑿の時機を來たのでトンネル戰士は一擧に二月攻勢に出て鑿岩機や、爆破の音も物凄く工事をつゞけてある、なほ門司側からの工事はシールド工法によるものでシールド組立も外部のみ終了、五月から掘鑿を開始するが、これで關門トンネルの第二線工事も大體見透しがついた

關門トンネル第二線も着工

第廿二回鮮展
五月卅日開幕

半島最高の美術殿堂第廿二回朝鮮美術展覽會開催に當り總督府では早くもこれが準備に着手してゐたが、日程、期日を次の通り決定

會期は五月卅日から六月廿日迄の廿二日間出品願書及び作品搬出期日を五月十六日から三日間、更に鑑査及び審査を五月廿一日から三日間、この外展覽會の行事としてはまづ五月十二日から會場を設備にのり出し十五日には事務所を會場に移轉、いよ十六日から出品願書及び作品搬出を受けつけ、十九日作品整理、廿日審査員入城、廿一日審査員及び參興本府に集合、總督より審査員招待、廿二、三兩日もひきつゞき鑑査及び審査が行はれ、廿四日はいよ〳〵入選發表と同時に、作品陳列、廿六日は委員長より審査員及び評議員招待、目錄調製、特選發表、廿七日は新聞關係者内見、廿八日會場大掃除とともに關係者内見、廿九日招待日として卅日待望の開會、六月廿日閉會となつてゐる

空の防人を訪ねて

防空監

監視隊員は地上にありながらその任務は全く地下に潜つた隠密な仕事で、世間一般に直接しないため活動的に見える警防團員に比較して極めて地味であり世間の理解と感謝を受けねばならぬ筈である。監視隊員は日夜我々生活の近距離にあつて、防火、水防天災地變の際活躍、救護の場に出動するのであるが、不斷の某戰行動は不測の事態に備へる〝訓練〟に終始してゐるため一般の注目を浴びて派手である。しかし防空監視隊員の行動こそは寸秒の間も忽に出來ぬ緊張な空襲の聲がそのまゝ實戰で高らかに打ち鳴らされる日まであり、勤務する監視哨はそのまゝ國防の第一線なのである、國土防衛、半島防衛の最前線が嶮峰の立哨してゐる岩肝と大空なのである。戰爭が勃發してから今日まで、そして我が國が群がる強敵を完全に屈伏させ、勝利の歡喜に溢れるうちを平和の鐘が打ち鳴らされる日までは、たとへ十年、卅年、五十年戰ひたうとも戰ひの終息する日までは斷として『敵機捕捉』の防空監視は續けられなければならないのである

戰爭は

長期に亘りやがて戰況は慘烈を極め、若者壯丁は續々と動員され、或ひは重需生產の職場に動員徴用され、男子が防空監視に當る…

電話一本、繋ぐ重責
都會を護る農村青年
（五）

寫眞＝電話で本部に通報する監視隊員＝村井特派員

視に手不足を感じる時が假りに到來したとしたなら、これに代つて敢然と婦人が起つて双眼鏡を握り、電話連絡に記録に精魂を傾けて敵機防衛の防空監視を續けなければならないのである

敵機の侵入跳梁を撲滅するためいま朝鮮では氷雪暗く閉ざす北邊の國境から南は東支那海に面する領海の小島に至るまで、山頂部落、海邊、都會、河岸を縫ひ合せるやうに網の目を張つて防空監視哨が設けられ、黙々として敵機の監視哨員たちが大空に全神經を集中し『目』と『耳』を鋭い兵器として防衛に當り、敵機の片翼すらも潜入を許さず晝夜の別なき嚴き護りに任じてゐるのである

國土防衛の立體的防空陣地の配備成つて、防空監視哨が設定されると、直ちに監視哨近傍の地に在る人々のうちから、思想堅固にして身體頑健な、しかも視覺、聽覺の完全なる者が晝れの防空監視隊員として當局から任命されるのである、特に半島に於ては國語を解し言語の明瞭なる者を適格者の條件としてゐる選ばれたる監視隊員こそは郷土に在るとは言へまさに赤紙の名譽の應召をうけた皇軍勇士と同等選ぶところなく直ちに戰時勤務に服する防空戰士となるのである

應急の

間に設けられた監視哨であるだけに擴張は本部との連繋を保つため急設された電話線一本が唯一の作戰用具で、哨舍などは辨當をしのぐに足りれば結構なのだ、任命された監視隊員は直ちにその日から熾烈なる對空監視の訓練を受け、着のみ着のまゝで家業を背負つて監視哨に立つたのである、血の滲む防空監視隊員の努力が續けられて早くも足掛け七年、今日では都大監視哨舍も本建築のものが多くなり、警報の被服、備品も整備される段取りにまで漕ぎつけてゐるが、僻い地方費の支辨では行き屆くだけの贈ひは當然望むことが出來ず、監視哨所在地の人々が相集つて奉附後援の熱血をなして監視隊員と勞苦を共に頒つ麗はしい一體の防空陣を張つてゐるのである、監視隊員もまたこの理解ある人達の後援に一入の感謝を捧げ滅私奉公の赤心に燃えて尊い任務に血潮の意氣を迸ぶらせてゐるのである、しかし多くの監視哨は山間海邊の僻遠の地にあり、從つて監視隊員の多くがこれら僻しい漁山漁村から選び出され、しかも敵機空襲の最大の好餌となる都會地と重要工業地帶の國防防衛を計り、己が農村の防空を從にすることは、國土防衛に地域別の差異の區別が無いとはいへ自ら敵機の直撃的被害が僻から都會へそして皮肉にもやむを得ないのである

るなら、私はかう斷じたいので「我々の住む都會は、我々の工業地帶は遠く離れた不自由不便な山間漁村の防空監視隊員とその部落の人達の血で洗ふ涙ぐましい防衛によつて敵機の空爆から護られてゐるのだ、私達はこの防空戰士たちの勞苦に對して誠を盡しての感謝を捧げつくしてゐるであらうか——」

この言葉はまことに大人氣ない詰しい反問である、なぜかなれば、都會にはまだ〳〵戰爭といふ嚴しい現實、斷じて勝ち拔かねばならぬといふ觀念を忘却の彼方に押しやつて個人本位の利得に〝我欲の盲人〟となつてゐる者が餘りにも多いからである増税の波に向いて何ぞ文學校は在學する戰のために〝流て〟ゆく人仕度の衣裳を買漁つた母親、效能仕事を輕蔑する田紳、買貯み生を侍らして戰爭を濫用しての我利物慾の不道德な利敵行爲が出來るのも、目を惡しくして皇國に一身を捧げて敵陣に散つてゆく皇軍勇士や、遺士に嫌氣と戰つて國土を護る防空戰士の尊い働きのお蔭だとはお氣づきにならないだらうか、血で贖ふわが尊い戰果を呪はしくも敵に成り與つて賊命にぶちこはしてゆくこれらの人に私は訴へたい

防空監

視哨員たちは何れも生業をもつてゐる、立哨當番の日には自ら職業を放擲して尊くも國土防衛の犠牲となり『一日一圓位』の食費の給與に甘んじて我等を、わが國土を護つてくれてゐるのだ私はこの監視哨員のなかに貧しい二人の青年のあるのを見た、寒氣は肌を刺して血を吹くといふに、單衣物を纏い薄いズボン、靴は藁靴をつかけた姿である、これに監視の防寒帽と脚絆、ボソンをつけてゐるとはいへ誠りにも痛ましい姿であることはさてく

しかし、この哨員たちは嚴然と〝斷じて空は護ります、この名譽ある任務を決して汚しません御安心下さい〟と旺然な責任感と不撓な攻擊精神に燃えていひ放つた、私はこの言葉にポロポロと涙の流れる感激に打たれた防空監視隊員の勞苦にもつと感謝を、もつと救援の手を伸ばせと繰返し繰返し獨白したのであつた

【北鮮〇〇監視哨にて村岡特派員】

銃後の生産戰を鼓吹

商工獎勵館で『生產增强大東亞經濟建設展』

…生產增强篇▲大東亞共榮圏物資交流篇▲大東亞事情篇の三部に分…半島生產力增强篇』一、二階…場に鋼鐵、石炭、輕金屬、…及びその代用品、ソーダ工…、硫酸アンモニヤ、パルプ…車輛、船舶、電力、セメン…陳列更に物動計畫資料とし…礦產品▲畜產品等の原料、製品…品▲水產品▲林產品▲…及主要各工場の現況を綜合…的に出陳し充分な説明を施…に對する一般の奮起を促さ…するものである…力增强の根幹である生產力

『大東亞共榮圏物資交流篇』は大東亞の建設に伴ひ東亞民族十數億の必需品は總てわが國に俟つ狀態にあることを紹介するもので三階會場に内地各地における南方及び北方向輸出の好適品見本、新興品、優秀代用品、優秀工藝品等約三千五百點をはじめ朝鮮における同様品約五百點及び大東亞共榮圏現地市場調査部品見本約一千點合計五千點を蒐集展示して大東亞共榮圏における物資交流の狀況を明かにし一般大衆及び業者の適確な理解を

『大東亞事情篇』は四階會場に東亞共榮圏全般に涉る各原地の產業經濟、文化、交通、風俗等の狀態を實物、寫眞、解說、ヂオラマ等によつて共榮圏の特性とその連鎖的構成を表現して大東亞建設の一大輿論を作りあげる

朝鮮みやげ 製作直賣 パカチ工藝品 本町入口 大和軒

食牛肉の配給
取締を考慮

最近食牛豚肉の不足に乘じてこれを半加工、内地特に阪神方面へ移出する傾向があり、ために食肉の需給に拍車をかけ、關係方面の注目を惹いてゐるが、かゝる傾向は特に全南方面に濃厚であるといはれてゐる、即ち食肉として配給されたものが味噌漬或は罐詰として半加工され、一般に配給されずに内地に姿を消すので、地場の食肉需給が狂ひ、相當大きな衝動を與へてゐるが、この點に對する取締が要望されてゐる

撃て米英！
さく夜節分の豆撒

…年男〟府内本町一ノ三八中…勇助さん他四名は古風な裃…姿に『米英擊滅』の意氣を…に個條の豆撒きを行つた、社…に備へられた福豆一萬袋はま…く間に出盡して、必勝祈願の…で終夜賑つた【寫眞＝京城神…豆撒き】

『學』に結ぶ日華
教育視察團一行寄城

同甘共苦の決意も固く大東亞共榮圏建設の一翼として東亞の宿敵米英擊滅に邁進する新生支那から强い日本の教育事情を詳に視察し來るべき時代の支那を背負つて起つ有爲な中堅青年を鍊成しようと華北中等教員からなる日本教育視察團一行男女二十二名が團長永山阜見氏に引率され内地に向ふ途中三日午後七時二十分京城着列車で寄城した、一行は四日午前京城師範を初め關係各機關を訪問午後一時總督府を訪れたが視察團は第一會議室で晝食の接待をうけながら市村視學官から朝鮮の教育事情を聽いた後、午後二時映畫『世界の奇勝金剛山』のち映畫『新興朝鮮』を觀覽挺身する半島の力强い息吹に接し、午後二時京城松國民學校を見學して宿舍に引あげた、一行は同夜七時四十分京城發列車で一路内地に向ふが、内地では東京、京都、大阪等主要都市を視察來月初旬歸國の豫定【寫眞＝總督府訪問の一行】

神宮雪上大會初日
【日光電話】

▲國體競定【鐵道局對抗】1樺太四三分三一秒、2新潟、3仙台、4大阪、5札幌、6鐵道省【營林局對抗】1樺太四四分〇四秒、2青森、3東京、4北海道、5滿洲國牡丹江、6大阪【遞信局對抗】1東京四四分五四秒、2札幌、3樺太、4仙臺、5名古屋、6廣島

▲男子中等府縣對抗 1北海道（旭川師範）一時間二十一分四十二秒、2秋田縣（大館中）3青森縣（野邊地中）4樺太（豐原中）5新潟縣（高田師範）6山形縣（長井中）

▲女子大廻轉府縣對抗 1北海道十七分卅四秒六、2秋田縣、3新潟縣、4樺太、5青森縣、6栃木縣

▲女子大廻轉個人選手權 1南伶子（小樽市女倶）四分五十八秒八2市岡（小樽市女倶）3鍛見（日光スキー）4畑山（高田高女）5福山（小樽市女倶）6平泉（大館高女）（本日の競技終了）

大沼維隆氏
【釜山電話】

釜山府富平町四丁目四十一番地大沼維隆氏は心臓麻痺のため四日午前三時急逝した、享年六十三同氏は半島司法界の大先輩で大正十二年平壤地方法院檢事正を最後に退官ののちは釜山で公證人を拜命してゐたが昨年末退職某方面に活躍すべく準備中であつた

張切る日蝕觀測隊
【釧路電話】

わが國では九十二年ののちでないと再び見ることが出來ない世紀の皆既日蝕はいよ〳〵けふだ、わが科學陣精鋭部隊はこの日蝕の一瞬を利用して太陽、スペクトル、電離層、地電流、地磁氣、氣象現象などに解明のメスを入れ人類の福祉增進に貢獻しようと擇捉から根室に至る東北海道一帶に觀測の放列を布いてゐるが、電氣磁氣、氣象などの觀測班はすでに數日前から宿題測定を開始してゐる、スペクトル研究を目指す班も四日夕刻には望遠鏡、計器などのテストを完全に終了、朝の冷朗な日の出を待ちうけてゐる、スペクトル研究の各班は大體において天候の如何には左右されないで測定目的を果すことが出來るが、望遠レンズだけは霧が深くても觀測を阻害されるので皆既日蝕職場に住む北海道民たちは今朝はストーブの煙を落して太平洋の彼方アラスカに佈陣する米英軍に負けるなどばかりこの科學戰に應援を送つてゐる、それに應へて『日米科學戰にも負けるものか』と働か一分三十秒を狙ふ觀測諸部隊の意氣はむしろ凄壯である

勞苦に報ゆる慰問金

京城電氣會社々長 穗積眞六郎氏

防空監視員の眞劍な緊張態度と赤心の奉公心は第一線將兵のそれと些かも變りない、地味なだけに絶大な感謝の誠を捧げたい、吾等で出來るのは慰問獻金だけだ

農村よ有難う
府でお禮心の慰問隊

戰線を完倣して食糧増産に挺身する農村人の血と汗の賜に奉仕があればこそ銃後は安泰だ、百十萬府民の台所の糧を稼る生産戰士へ感謝せよーの聲は漸く昂まりつゝあるが、京城府では京畿道とはかつて農村人へのお禮心から道内廿二郡へ『移動演劇隊』を送り、娯樂に乏しい生産戰士へ目から耳から百パーセントの慰問の花束を贈ることになつた

京畿道では旱害の苦闘も見事に切拔け決戰下の食糧増産に營々の努力を拂ひ百十萬府民に尊い米穀の配給をつゞけてくれる道内二百二十餘面のお百姓さん達に何か慰安の方法はないものがと京城府と打合せ中であつたが四日古市府尹は道農務課係員と懇談の上、藝能人を總動員して農村慰問運動に參加せしむるべく具體的準備の整ひ次第さつそく農村慰問隊を派遣することとなつた

慰安演藝種目は浪曲、朝鮮唱劇、野談、漫談、歌謠曲、舞踊等農村を對象とした藝演劇一切を包含し藝能人總動員の協力の下に各隊十班に分ち道内隈なく巡回させるもので、農閑期を利用した本月中旬から三月中に全部を終へる豫定であるが、京城府主催のこの劃期的な催しは農村人から非常な期待をもたれてゐる

一粒の米に感恩
道廳で食前感謝の箴言

この一粒のお米こそは天恩にすがり人事を盡した農民の汗苦の結晶である、戰時食糧の確保は生産増强と消費規正の兩面から行はれねばならないが、都會地の消費者は殊に三度の食事毎に農民の敢鬪に感謝、些かの不平不滿もなく戴いてこそ消費規正も完遂されるのだと、京畿道農務課ではこのほど食前感謝の箴言を定め高知事以下全職員が食前必ず一粒の米に感謝の言葉を捧げ全道をあげて感恩の生活實踐に邁進することにした

食前の感謝

一、此食物が食膳に運ばれる迄には幾多の人々の勞力と神佛の加護によることを思つて感謝致します

二、私共の徳行の足らざるにこの食物を頂くことを過分に思ひます

三、この食物に向つて旨いからとて貪る心、不味いからとて厭ふ心を起しません

四、此食物は天地の生命を宿す良藥と心得ていたゞきます

五、此食物は勤勞以て君國に報いんが爲にいたゞくことを誓ひます

新住所を御通知下さい
支那事變功績者の方へ

京城府では支那事變に從軍し、功績者として行賞せられた左記四氏の住所不明のため賜物伴の交付が出來ずその居處を探してゐます心當りの向は至急府總務課まで通知されたいと

天野芳男氏(舊住所三坂通一〇五ノ一二七)▲原田武男氏(同學信町六六ノ一)▲石丸高行氏(同堂山町一七三)▲伊藤政烈氏(同昭格町一二三)

戸籍ご寄留
城北町會で調査講習會

明十九年度から實施される徵兵制度に伴ふ半島人の戸籍整備は目下着々と進捗してゐるが、より一層一般國民にも認識徹底させるため京城府城北町會では四日午後二時から三山學校講堂に町内の愛國班長以上の町聯盟役員を集め、戸籍並に寄留調査に關する講習會を開催、立本總代指導の下に徵兵制に伴ふ戸籍の整理法を習得した

愛兒の死を祕めて任務達成
警防美談

我が子の死は私事だ、一日たりとも國土防衛の重任を疎かに出來ぬと愛兒の死を祕めて警防任務を全うした天晴れな警防團員があるー

龍山警防團第二分團特別消防班員京城漢江通一ノ一三岡本治陸氏は龍山警察署三角地派出所で卅一日午後九時から十二時間、同警防團の警戒任務の命を受けたが、その二日前から次男忠明ちやん(二)が急性肺炎で危篤狀態にあつたのにも拘はらず警防任務の重大さとその責任感から敢然と任務についた、あと三時間で警務時間が終らんとした一日午前六時ごろ家人から臨終の悲報に接したが、たとへ後三時間と雖も任務を離れることは出來ないと最後まで職務を全うして歸宅した時は既に愛兒は不歸の客となつてゐた、このことが皆國の感激を買ひ谷軍龍山署長はこれこそ警防團員の龜鑑であると近く同氏を表彰することになつた

消えやらぬ愛國の至情
傷痍軍屬、再起慰問行脚へ

事變以來、一軍屬として大陸の戰野で活躍中不幸敵彈のため名譽の負傷をして歸還した半島人が全治を機會に愛國の至情から又もや第一線の皇軍將兵を慰問行脚するといふ佳話が東大門署に齎された

京城新設町三二七の二一永山榮助氏(四三)で同氏は支那事變の諸戰に皇軍の大戰果に感激〃これこそ半島人も振ひ立つ絶好の機會だ〃との志を祕めて渡支、一軍屬として入隊してからは皇軍の手足となつて奮鬪中、不幸にも同年十二月右脚に負傷をして歸還、回復されたものの敵彈に貫かれた脚は不具となつた

しかし同氏は不自由な脚に屈せず〃この身では再び第一線には立てない、しかし皇軍の慰問くらゐは大丈夫だ〃とて、これまでの五年間第一線部隊または野戰病院を訪問して重傷を掲げて勞苦を慰めて京城に歸つたが、この安息も束の間更に南方方面の勇士慰問を計畫、旅行證明書下附願ひのため所轄東大門署に立ち寄つたのである、はじめて永山さんの篤行を知つて、署員も感激してゐる

なほ同氏は今妻安文子さん(三七)と靖國神社參拜に向つてゐる

街の慰問袋
冷凍馬鈴薯食べ方教授

◇……冷凍馬鈴薯はどんな風に食べるかー」について京城府では次のやうに宣傳してゐます

◇……凍つた薯の中から今日料理にしようと思ふ分だけ取出し直ちに溫湯(風呂の湯加減)に浸せば十分間でブクブクになります、取出して輕くしぼり生薯と同樣何にでも料理出來ます

◇……馬鈴薯百六十匁は米一合に代るもので御飯に炊くときは三割、五割と薯の量が増せば増すだけ水加減を減ずるのがコツで

◇……殘つた薯は北向の縁の下や物置等陽のあたらぬ場所へ貯藏して下さい

藁工品增産へ
勝拔く富川郡

決戰下何がなんでもやり拔くぞ！の決意をみせて米穀供出戰に輝かしい戰果をあげた京畿道富川郡では今度は叭、繩等藁工品の供出戰にも勝拔くぞと凜たる心構へで昨今の寒氣もものかは、これが製作に敢鬪を續けてゐるが、昨年もこの藁工品では悠々十一割突破といふ好成績をあげてゐるだけにその面目を失墜してはならぬ、是が非でも昨年以上の好成績を收めんと郡では職員を總動員し李家郡守自らも昨今では草鞋がけで早朝、夜間の作業督勵に乘出し十萬農産戰士とゝもに渾然一體血みどろの攻勢を開始、百十數萬枚の目標數量は二月迄に完遂し、三月一杯は餘裕綽々たる補助期間として臨む方針ですゝんでゐる

なほ郡農會では藁工品供出戰に殊勳を樹てた部落、個人を追つて調査の上表彰することになつてゐる

[illegible]

して晴れの表彰を受けることになつてゐる

潤町　新族潤竹田若一(四九)男子五、女子五▲松林町一六四大山福成(四七)男子六、女子四▲朱安町一三四金本光永、男子四、女子六▲花水町一八二山本炳喆、男子三、女子七▲栗木町一二金井基善、男子九、女子一▲富川郡吾丁面壯里九八玉川齊日、男子四、女子六

一人に一貫五百匁配給
內地から來るぞ白菜、葱、大根

總督府が一般家庭の野菜難を解消させようとする親心から、かねて內地に向け發註中の野菜が鹿島、山口、宮崎、鹿兒島方面から三百萬貫も釜山、京城へどつと入荷、暫く野菜に困つてゐたお台所を喜ばせる、內地が朝鮮の春に贈る嬉しいこの野菜は白菜、大根、葱の三種、京城への分には百五十萬貫がすでに去る二日から中央賣場市場にその生々しい姿をみせて居り遲くともこの十日ごろからは府民のお台所に各町會を通じて配給されるはずだが、京城府民百萬とみてこの野菜は一人宛一貫五百匁は充分に届くであらう

京城鐵道局で優良線路表彰

京城地方鐵道局では十七年度における線路の檢査の結果成績優良の左記のものを表彰する(五日午前十時局會議室で)

▲保線區(成歡、新義州、江界)▲保線分區(沙里院、价川、汶山)▲線路班(渭溪、車輦、[illegible])

聖地參拜へ

京城地方鐵道局では管內從業員中から優秀從業者三千名を選び、二班に分けて宮崎、霧島、伊勢、熱田、明治、橿原の各神宮、靖國神社を參拜せしめて聖戰完遂を祈念せしめることにした、第一班は五日、第二班は十一日出發するが何れも十六日間の日程である

京城商議でも

京城商議では京城建築請負業組合爪生常務理事外商工業界の中堅指導者十三名を選び聖地參拜と內地の先進都市を巡歷しつゝ商工報國の實態を觀察せしめることにした、一行は武富振興課長が引率し廿二日京城發、京都、宇治山田、東京、大阪、下關などを巡歷し三月四日歸城の豫定

鄕軍の强行軍
龍山第一分會

いざといふ場合は郞鄕第一線に馳けつけて敵米英を擊滅する逞しい鄕魂と強い脚を鍛へようと、在鄕軍人龍山第一分會では分會長前田新醫郞少佐の指揮で全會員が六日午後一時半京城師團司令部前庭に集合、同二時出發、廣州郡まで强行軍を敢行、一泊の上七日午後三時歸着することになつた

贋造紙幣に御注意

龍山署では去る廿九日岡峴町餅商金相龍さん方から巧妙な贋銀券十圓二枚の贋造紙幣を署員が發見したので、三日一般の注意を促した

鷄卵の闇

新堂町三四金七城室學(三〇)は一儲けを企み、江華島で鷄卵二百九十箇を買占めてトランクに入れ仁川驛から京城に持歸らんとしてゐたところを二日早朝仁川驛前派出所員に取押へられ取調べを受けてゐるが

暴利を貪らんとして銃後統制經濟を紊す闇搬出入の取りに警察經濟係は萬全を期してゐる

レンネルへ捧ぐ
捷報に獻金相踵ぐ

レンネル島沖海戰大勝利の報に湧く府民の感謝は相つぐ獻金の山となり、出征中の兄からの送金十五圓九十六錢に自分の貯金六圓五十錢を加へて獻金した新町東務滿田光子さんや、とつておきの天保錢や銀銅貨取交ぜ十八圓七十錢獻金の黄金町七ノ一二四田中スエさんなど誠意を罩つて四日までに本町署の窓口に寄託された海軍獻金は次の通り

▲百卅七圓二錢明治町二ノ五大西岩松▲百圓黑石町山五ノ一九鎌田耕造▲五十圓黄金町二ノ一四八長門谷道男▲十七圓七十錢並木町一八六小林信男▲四圓五十錢本町三ノ三〇植木和夫▲十圓七十六林町一四二下森俊男▲(古錢)四圓八十二錢黄金町三ノ五〇井上重雄▲五十錢初音町一三八大坂満一▲十圓南山國民學校小川惠子▲十六圓六十五錢新町一二長瀨岩藏▲二十六圓四十五錢青葉町二ノ五三島田チヨ▲六圓七錢(銀紙一袋)黄金町三ノ二六〇中村方田村ウテ▲卅圓花園町一九二平島守人▲百圓永樂町京城會館從業員一同▲百圓本町二ノ七七柳みと▲二十圓若草町一七〇千古八三▲七圓六十錢壽岩町四五北垣米子

ヨイコドモの赤誠

四日京城府兵務課を訪れた西大門國民學校生徒一同は米英擊滅の彈丸にして下さいーと學童の赤誠になる銅貨四百八十五枚を獻納寄託、同じく櫻丘國民學校二年生的場リヨさんは一錢銅貨四百五十五枚を寄託獻納した

專賣局の實務講習

最近の需要增加に伴ひ繁々煩雜性を帶びて來た專賣局では近ごろ採用した中等學校卒業程度の職員四十名を集めてけふ五日から三月六日まで一月間本局で實務講習會を開くことになつた

子寶部隊表彰
仁川署管內決る

〃生めよ殖せよ〃に拍車をかけて京畿道では今年も二月十一日の紀元の佳節に十人以上の子寶をもつ優良多子家庭を表彰することになつてゐるが、仁川署管內でも左記六名がいづれも十人の多子家庭と

半島縮刷版

平壤の家々に富鑛帶
どしく出て來る金屬類

【平壤】街の鑛脈を掘出せの聲に呼應、平壤府内各町會では率先現在使用中の眞鍮食器を全部供出、回收後日の一日中に供出點數が約一萬五千點、價格に換算して約七千圓に達するといふ物凄い成績を收めた

◇平壤高女生たちが金屬回收を行つた際、府內某寺では身長三尺に近い佛像を供出し生徒たちは勿論、當局を痛く感激させた

◇平壤館前町會では先月廿四日から四日間に亙つて行はれたが、お菓子屋さんが商賣道具の銅製燒器を、旅館では火鉢をはじめ花瓶類を供出、中には佛具など家庭の金屬類を悉く供出してゐる

◇半島人家庭の眞鍮器使用は古くからの慣習で、一時はこれの代用品として買込んでゐたものであるが、この際古來の陋習をはれた程だけにどの家庭でも一般の裝飾品として買込んでゐた食器は悉く陶磁器に改めることを決意したところ、府內大祭町では全町民が申合せ

凍乾明太は廿萬駄

【咸興】咸南道水產課の集計によれば凍乾明太の本年度總生産高は廿萬四千百駄を豫想され、前年度の十八萬七千六百三駄に比べて實に一萬六千四百九十七駄の增加で、依然ゆるがぬ增產進軍譜を奏でてゐるが、明太子は昨年度に比して稍減産で、之は農村方面への物々交換が特に盛んになつたからと見られてゐる

鰮來游せず鯡來る

【大邱】鰮にあぶれた慶北沿海には最近これに代る鯡の大群が來游し、去月廿九日迎日灣内漁場において六萬貫の初漁を見てから一日の廿萬貫まで合計四十萬貫、約五十萬圓の水揚げを見たが浦項では早くも往時の鯡黄金時代が來るのではないかと幸先を狙つてゐる

滿洲へ苗木を送る

【春川】江原道では友邦滿洲國の緑化運動に協力して昨年は赤松三百萬本を送つたが、今春もさらに大量註文に接し、カラマツ五百萬本を送ることになり、すでに去る一月末までに滿洲國林實統制に二十三萬本を發送し殘餘も續々と送り出してゐる、なほ江原道としては昨年來苗木の自給自足を目指して苗圃事業を積極的に獎勵した結果が總督府に好成績を收め、今年はカラマツ、チヤウセンマツその他合せて五千萬本が確保され、多少の餘裕を見せてゐるので、諸滿洲國の發展に協力して麗しい鮮滿一如を緑化運動に結びつけたわけである

錬成所長の打合會

【全州】さきに半島青年特別錬成所令の公布を見ると同時に全北道では逸早く道内に五十三ヶ所の青年特別錬成所を設け、その錬成につとめてゐるが、道當局ではこれが萬全を期するため本府竹内錬成課長を迎へ來る九日午前九時から道食堂で青年特別錬成所長打合會を開き、各所の錬成狀況報告の後今後の錬成方針につき協議する

全北の債券抱合せ

【全州】全北道では道民の消費節約を促し浮動購買力を吸收して九億貯蓄達成に資するため、昨年七月から買物貯蓄を實施してゐるが最近增額を見こみ買漁りをなしてゐるものが相當あるので、これを抑制するため從來の買物貯蓄の債券抱合せ率を物品販賣令中第一種甲類に屬する物品、一品二十圓以上のもの買上に對し一割三分、同百圓以上二割六分、同五百圓以上三割九分同乙類に屬するもの一品廿圓以上一割一分、同百圓以上二割二分、同五百圓以上三割三分に夫夫引上げ二月一日から道內全般に亘つて實施した

大いなる祭 【59】
中野實(作) 三芳悌吉(繪)

河南地區(四)

『今更、そんなことを云つて、僕をだまさうとしても無駄だよ、美々』は部屋の出入口の扉に身體を持たせかけ、油斷なく美々に目をくばりながら、皮肉に笑つて見せた。

『知つてゐるわ。この間でも、仰有る通り美々の負けだつたわ。でも、今日は本當にあなたに話があるの。聞くだけは聞いて下さい。その上で、どうしてもあなたが私を連れて行くと云ふなら、何處へでも行きます。憲兵隊へでも、死刑場へでも』

何時もの美々ではない。うつむきがちに、ぽつりくいふ言葉には、飾りつ氣のない女心がむき出しに見えてゐた。

『へえ、感心に殊勝だね。で、話つていふのは』

『聞いて下さる？』と、美々は目を輝かすと並んで長椅子に腰を下ろした梶時英にすりよつて、ほとばしるやうな、感情の波を押へつけてゐるためか、不自然なほど事務的な口調で、

『あなたもいつか、私の夫を殺したのは南京政府側の仕業ではないと仰有つたわね』

『云つた。それがどうした』

『それが私にも解りかけてきたの。李鐵を殺したのは、あなた方の味方ではなくて、あたし達の仲間にあるかもしれない……。あたしはそれを確めて復讐をしなければならない……。梶さん』

美々は長椅子からすべり落ちるやうに、梶の足許にひざまづくと、

『今日だけは見逃して下さい。その代り、李鐵の復讐さへすませたら、あたし、きつとあなたの手で縛られます。あたし……、あたし李鐵の仇を討つまでは死にきれない。その上、その仇に操られて深い陷穽に落ちたとしたら……、あたしの恥を二重にも三重にも重ねてしまふ。あたしはこの手で……、です。その仇を討つんです。ば李鐵も浮ばれません。美々が生きてゐる間の最後の願ひです。聞いて下さい』

『駄目だ、美々。芝居にはそのくらゐにして置いて一緒に行つて貰はう』

『芝居……』

『さうだ。君のその手に何人の男が玩具にされたか。僕が知らないとでも思つてゐるのか』

『梶さん』

美々は叫ぶやうに、

『美々の目を見て下さい。じつとみて下さい。これが嘘を言つてゐる人間の目かどうか。美々は李のために中國の女の誇りも恥も捨ててかゝつてきました。でも、殘つてゐるこの誇りをかけて、この眞實をあなたに誓ひます。お願ひです。一度だけ、今日だけ……』

押へきれなくなつた感情をさらけ出して、泣きじやくる美々の姿に、梶時英はひき入れられたやうに目を据ゑた。これが皆て自ら國を仰いで、自己の生命を賭けたとした女か。重慶政府の傀儡となつたのも、夫への愛情に外ならなかつたればこそ、今その目的を失つた美々の自然の姿なのではないか

『おやあ、きつと僕のところへ歸つてくると云ふのだね』

『歸ります。きつと、きつと歸つてきます』

美々は涙にぬれた顏を上げて、梶時英を凝視した。

ラジオ 5日

朝 七・〇〇訓話淺野良三▲七・〇〇國詩(錄音)▲(城)『中等學校卒業生の父兄へ』江頭六郞▲九・三〇(城)『科學する心の指導』(城語)梅園時成(城)音樂▲一〇・〇〇(大)『ミハリノヒカウキ』吉川利勝▲一・〇〇音樂『冬の景色』東京市八雲國民學校兒童ほか

晝 〇・三〇管絃樂▲一・〇〇朗讀『一針に祈る』川名放送員▲二・〇〇音樂講座『越天樂』多忠朝ほか▲二・三〇(城)朗讀『田中支隊』(鮮語)澄川清

夜 六・〇〇(大)日本神話『天の岩屋』毛利菊枝▲六・〇〇(城)『醉ちてしまむ』福永憲▲七・五〇朝鮮だより▲八・〇〇『放送劇 寒來る』山本安英ほか、2三絃主奏樂『みぞれ降る夜』杵屋佐吉ほか▲九・〇〇(城)伽倻琴散調沈相健▲四・〇〇(城)『郷神の教育』吉田正男▲四・三〇(城)兵役講座

商業登記公告

昭和拾七年拾壹月貳拾七日登記(朝鮮東亞貿易株式會社移轉)京城地方法院 [illegible]

夕刊 京城日報

印度の繁榮を希望 領土的野心なし
首相、帝國の方針明示

【東京電話】東條首相は四日午前衆議院豫算總會において印度、ビルマ、比島問題に對する小山亮氏の質問に對し、帝國政府は大戰目的に明示せる如く印度に對し何ら領土的野心なきのみならず、印度が一日も早く印度本然の姿に立ち返り、英國の羈絆を脱し、印度人の印度として繁榮すべきことを衷心希望し、またビルマの建設協力、比島の治安回復に努力してゐる旨を述べ、中外にわが根本態度を明示した【寫眞＝東條首相】

東條首相答辯（速記要旨）

印度に對する敵國の態度についてはすでに施政演説において申述べた通りである、帝國が印度に對して領土的野心のないことはもちろんである、印度をその本然の姿に返へさんと努力してゐるとは今次戰爭の目的に徴しても明かである、敵側も色々宣傳をしてゐるが帝國の八紘爲宇の御精神に基く堂々たる行爲は敵として最も痛いから壞れない、破壞しようとする敵は領土的野心があるのだと宣傳してゐるが、事實は明確にそのしからざることを證明してゐる、すなはち滿洲國の獨立國家としての存在、これを何んと見る、支那はあれだけの作戰行動をしながら今や南京政府を盛立てて正常なる發達を所期してゐる、これまた大きな事實である、また獨立國として泰は存在し、その領土を保障し、泰も安心して日本と共同作戰をなしてゐるこの事態を何んと見る、またあれだけの戰鬪をしながらビルマに對しては御存じの通り帝國の態度を闡明にしてゐる、この事實を何んと見る、フイリツピンに對してもこれは煮ても燒いても食べる姿勢にあるが、フイリツピンが日本の施策に協力して來るならばその獨立は努めて早きを期待するといふ態度を今日表明してゐる、これを何んと見る、すなはち領土的野心とかそんな小さい考へをもつてをらぬといふことは事實が證明する、この事實は着々として今日大きな日本の政策として立派に證明されて來てゐる、これを何んとかして米英側が糊塗しようとしても糊塗出來ない事實が現在存在してゐる、事實は胡麻化し得ない、日本がやるといつた以上はやることはる、事實において證明してゐる、如何なる宣傳をしようとも眞の事實は宣傳を破壞すべきものと私は考へる、要するに繰返していふが日本として領土的野心がないのみならず、その本然の姿に返へさんとわれ／＼は努力してゐるのである

增產推進に全責任
首相自ら民間有識者と協議
戰時行政特例法案 特に機關を設けず

【東京電話】政府は時局下喫緊の要請たる鐵、鋼、石炭、輕金屬、造船、航空機など重要軍需物資の飛躍的增產完遂のため、生產行政の簡捷化と指導監督の組織一元化を目指す『戰時行政特別法案』ならびに『許可認可など臨時措置法案』を議會に提出、諸法案は二日衆議院本會議に上程され委員會附託となり、四日より實質的審議を開始した同兩法案は近く制定實施の『戰時行政職權特例』の勅令とならんで統合的戰時生產行政基礎的立法である、これに對する本議會の審議經過は各方面の注目を惹いてゐるが、東條首相は既報の施政方針演説および衆議院豫算總會における説明などにより、これが根本方針を明確にして、首相自らそのいはゆる『參謀總長』の指示を行使するに當つては各閣僚なみに民間側の意見を愼重にして行くの決意を示した、この民間側の意見聽取と參酌については特に大掛りな委員會の如きを設置せず、首相自ら財界有力者その他民間有識者を個別的に招待して、隔意なき意見を聽取したうへ、その率直眞摯なる協力を求めるものと見られ、こゝにも首相が全責任をとつて生產行政の推進に當らんとする氣概が窺はれる

貴院委員會 三法案可決

【東京電話】三日の貴族院兵事法案特別委員會は同法案および左記法案二件を全會一致原案通り承認可決した、よつて五日または六日の本會議に上程可決のうへ衆議院に送附する豫定である

一、船員保險法中改正法律案
一、軍事扶助法中改正法律案

狹隘町村は整理
規模を綜合的に考慮 古井地方局長言明
衆院委員會

【東京電話】第一線の行政機關として重責をになふ町村の規模は各地方において異なるが、過去の慣習などから經濟的に狹隘に過ぎ、現下の人的資源活用、町村財政の強化、事務の簡捷化などから見て遺憾の點が多いので內務省ではこれら町村の教育施設、事業各種施設ならびに連帶地域における部落の實情を綜合的に考慮し、町村行政運營に最も適切なる規模を定め、狹隘、小規模町村の整理を行ふ方針を決定した旨三日の衆議院市制改正委員會で古井地方局長が言明した

現在六百戸以下の町村が全國町村の約五割近くを示してゐる、內務省としては從來、この種、狹隘町村の合併機運釀成に努めて來たが、時局の進展に伴ひ町村の各種事業、施設內容、國體ならびに連帶地域の部落などを綜合的に考慮して速かに適當なる規程を定め、自治體としての完全な體制を整へたいと考へ研究中であるが、現在に比較して規模は大きくなるものと期待してゐる

蔣一行桑港へ

【香港四日同盟】渝門中央社電が重慶情報として報ずるところによれば、渡米の途にある蔣介石一行は一日午後サンフランシスコに到着した、隨行者は宋子文、張群、ラチモア以下三、四名で『空の要塞』機四機に分乘するものものしさであつた、なほ重慶消息によればチャーチルも一日極秘裡に訪米の途についたが、スターリン首相の出席は不明であり、必要なる場合はモロトフが代理として出席するはずといはれ、いはゆる反樞軸

駐土獨大使 重要報告か
四頭會議は豫定日には開催不可能の模樣であるといはれる

【イスタンブール二日同盟】アンカラ來電によれば、トルコ駐劄ドイツ大使フォン・パーペン氏は、二日トルコ外相メネメンジョグル氏を訪問、重要會談を遂げたが近くベルリンに赴き本國政府に對し右會談の內容を報告するとともに重要協議を行ふことになつたと傳へらる

チャーチル、埃及國王を訪問

【リスボン三日同盟】カイロ來電によれば、英首相チャーチルはランプソン大使ならびに海空三軍の司令を帶同し、アブデイン宮はエヂプト國王ファルーク一世を訪問要談を遂げたと傳へられる、但し會談內容は極秘に附されてゐる

スターマー大使信任狀捧呈

【東京電話】天皇陛下には今般着任した駐日ドイツ國特命全權大使ハインリヒ・スターマー氏に對し四日宮中において親しく謁見仰付けられ、信任狀捧呈式を執り行はせられた、この朝同大使は隨員とゝもに宮內省差遣しの自動車にて午前九時四十五分麻布區永田町の同大使館を出發、二重橋より參內、畏くも 天皇陛下には午前十時鳳凰間に出御あらせられ、同大使以下に對し、親しく謁見仰付けられた、同大使は恭しく御前に參進、謹んで新任の挨拶を言上申上げ、ついで信任狀ならびに前任大使の解任狀を捧呈すれば畏くも 天皇陛下にはこれを谷外相に授けられ、優渥なる勅語を賜ひ入御あらせられた【寫眞＝參內するスターマー大使】

老河口（湖北）を爆擊

【廣東四日同盟】重慶來電によれば日本軍航空部隊は三日午前二回にわたり湖北省西北部漢水沿岸の要衝老河口を爆擊、軍事施設に甚大なる損害を與へた

山東の共匪掃蕩

【青島三日同盟】去月廿八日夜半突如山東半島西部の酷寒を衝いて行動を開始したわが大島、羽生、山本各討伐部隊は平戸、昌邑、高密、膠縣の四縣境地區一帶に蠢動する蔣系遊擊隊暫編團匪および赤衛軍ならびに共產匪群に對し、徹底的掃蕩戰を續行中である、行動開始以來二日までに判明せる綜合戰果左の通り

敵遺棄死體三〇二、捕虜五〇、鹵獲品、輕機三、小銃一九二、その他多數

東條再聲明に感銘
比島參議會 感謝決議採擇

【マニラ三日同盟】東條首相の比島獨立再確言聲明は全比島民に非常な反響と感銘とを興へてゐるが三日比島參議會および行政府各部長官會議では東條聲明に對する大要左のごとき感謝決議を採擇發表した

比島參議會感謝決議文

昭和十八年一月二十八日の東條總理大臣今回の聲明は日本の比島獨立許容方針に關する昨年一月二十一日の全聲明をさらに一歩を進めたものにして比島參議會は右再聲明に對し深甚なる謝意を表明することを決議しさらに大東亞共榮圏の一環として恥しからざる新比島の獨立許容のために課せられたる各條件の達成に最善を盡さんとする決意を再び確言する

比島參議會議長 ホルヘ・ビー・バルガス

行政府各部長官會議決議文

東條總理大臣今回の聲明は大東亞共榮圏の一環として恥しからざる新比島の獨立に重要なる段階を示すものなるをもつて、比島行政府各部長官會議は比島民を代表してこゝに大日本帝國の比類なき公正寛大なる聲明に對し深甚なる謝意を表明するとゝもに大日本帝國に對する比島民の眞摯なる忠誠を更に確認し、かつ大東亞共榮圏建設の大業に最高の協力を捧ぐる確固たる決意を新たにする日と定めることを決議す、右採擇す

行政長官 ホルヘ・ビー・バルガス

南支那海上の封鎖固し 支那方面艦隊報道部提供・海軍省許可濟第一〇一號

衆議院豫算總會

【東京電話】四日の衆議院豫算總會は午前十時十三分開會

小山亮氏（長野）輸送力確保につき船舶運營の現狀は能率的でなく荷役力も充分でない

寺島遞相 運營については政府もあらゆる努力をしてゐる、荷役量の增加なども實施してゐる、また荷役力の增强は特に重視してゐる、先般來港灣荷役の增强に特別の措置を講じて二月末までに五割增强を所期してゐる、現在までにすでに三割增强を實現してゐる、南方よりの輸送船團などは多數同時に入港するためある船が數日間待つてゐることもあつたが、かゝる場合には官民一體となつて荷揚げに努力してゐる、勿論現狀で滿足せずあらゆる手段を講じて解決、船一定勞務者の確保などのほか勞務者の生活、食糧機關などにも施策を講じてゐる、賃金に付ては厚生省とも充分連絡し出來高拂制の趣旨を取入れてゐる

小山氏 海上輸送關係者、船員に對する必需品の配給は軍についで優先させねばならぬと思ふが如何、また船員の養成對策如何

遞相 船員の優遇に對しては政府も對策を決定した、船員養成に對しては學校の增設、養成所の建設擴張、修業年限短縮など極力努力してをり海務院でも對策が出來てゐる

小山氏 印度三億五千萬の民衆には未だ日本の眞意を知らぬものが多い、英國の反日宣傳に瞞されてゐる、日本は印度の完全なる獨立を望むことを解明されては如何

東條首相 印度に對する帝國の態度は施政方針演説において申述べた通りである、領土的野心は全然ない、印度本然の姿に歸さんとするものである、このことは戰爭目的にかんがみても明白である、八紘爲宇の理想に基く日本の行爲は敵側にとつてもつとも痛い、滿、支、泰の獨立尊重の事實、ビルマ、比島の獨立許容方針の事實を米英は何んと見るか、事實が日本の政策を證明してゐる、これを米英が翻弄することは出來ない、眞の事實は宣傳を破碎する、繰返していふが印度に對しては領土的野心などはない、本然の姿に歸してやらんとするものであるとを明言する

小山氏 ビルマ獨立に對しては援助を與へると思ふが如何

首相 ビルマの獨立は協力することを言明した、軍事的政治的經濟的獨立に協力することは當然である

小山氏 比島については如何

首相 比島に對してはさきに施政方針演説で申した通りである、私は態度を明確にしてゐる、治安の回復は心強く考へてゐる

小山氏 現地において作戰が濟んだならば直ちに現地で配船し得る如く陸海軍および海務院の船舶の一元的運營を行つては如何

首相 現在の運營には缺陷ありと考へてゐるのでこれは是正する、陸海軍の船を民間のものと一元的にすることは理論としてはいゝが到底出來ないことである、凡そ戰爭は勝つことが第一である、陸海軍には存分に使はせなければならぬ、統帥を拘束することは斷じて不可である、統帥の許す範圍では現に協力してゐる

かくて正午一日休憩

ス市戰鬪停止 獨軍公表

【ベルリン三日同盟】獨軍司令部は三日午後の戰況公報においてスターリングラード地區における戰鬪は停止した旨發表した

土、洪新通商協定

【イスタンブール三日同盟】アダナにおける英、土會談に伴ひ、トルコの動向は各方面の深甚な關心の的となつてゐるが、去る一日ブダペストにおいてトルコ、ハンガリー兩國間に新通商協定が正式調印をみた旨二日當地で發表された

悲壯、獨軍の奮戰
卅五度の酷寒に凍傷者續出

【ベルリン三日同盟】獨軍司令部は三日の特別公報をもつてスターリングラード戰の終結を發表したが、一月廿日までスターリングラードにあり最後の飛行機で同市を脱出した獨軍連絡將校フオン・チツチエウイツツ少佐は同日夜外國新聞記者團に對して悲壯を極めた獨防衞軍最後の敢鬪ぶりを左の如く語つた

スターリングラード防衞の第六軍は數週間來空輸補給が出來なくなつてからいよ／＼苦境に陥つた、多數の輸送機はスターリングラード防禦線內に着陸しようとしても着陸場がないために破壞された、つゞいて輸送機による彈藥、糧食の空中投下が試みられたが十分な補給は出來なかつた、そのうへ天候が惡く輸送機による補給が益々困難になつてスターリングラードに孤立した獨軍の糧食彈藥並に燃料は急激に缺乏を告げるに至つた、同方面は目下零下卅五度といふ寒さでこの酷寒のうちに獨防衞軍は戸外に宿營しなければならなかつたため凍傷者續出し獨軍の戰鬪力に多大の支障を來した、スターリングラード地區に集結した赤軍は最も精鋭な部隊であり、しかもその兵力夥しく壓倒的に優勢な赤軍兵力が遂に防衞軍を壓倒したのである、輕傷者は假繃帶の終るのも待ちかねて再び第一線に出動した、將軍連も高級將校連も最後までその位置にとゞまつた、獨防衞軍と運命を共にしたルーマニヤ軍ならびにクロアチヤ軍も遺憾なく戰力を發揮した、かれらもまた實に最後のときが訪れるまで獨軍勇士と肩を並べて驚嘆すべき勇敢さを發揮したのである

第六軍を讃ふ
獨軍司令部發表

【ベルリン三日同盟】獨軍司令部三日午後發表＝スターリングラード市防備の戰鬪は終つた、ドイツ第六軍はパウルス元帥の指揮のもとに最後まで奮戰したが、遂に優勢な敵軍に屈服した、さらに獨空軍の高射砲一個師、ルーマニヤ軍二個師ならびにクロアート軍一個聯隊は新戰友精神を發揮し、最後の瞬間まで任務を果し獨軍と運命を倶にした、しかし獨軍の犧牲は決して無駄ではなかつた、歐洲の歷史的使命を擁護する砦として、ドイツ軍は赤軍六個軍團の攻擊に對し數週間にわたり抗戰した、赤軍の重圍に陥りながら困戰苦鬪と困苦缺乏に堪へてさらに數週間赤軍の有力な兵力を釘づけにした第六軍の敢鬪により、獨軍司令部は機宜の對策を講じ、東部戰線の全局を保善することができた、第六軍は以上の重大任務を擔つて奮鬪をつゞけ、赤軍が二回にわたり降伏を勸告したにもかかはらず、毅然として右申入れを拒否し、將校も下士官も兵も最後の一彈に至るまで肩を並べて敢鬪し、ドイツ國を救ふために斃れた、ボルシエビイキの惡質な宣傳にもかかはらず、第六軍の勇戰敢鬪は全國民の龜鑑として永へに靑史に殘るであらう

獨全國民服喪

【ベルリン三日同盟】獨軍司令部がスターリングラード市の陥落を發表したのにつゞきドイツ宣傳相ゲツベルス博士は布告を發表し第六軍の英雄的敢鬪に敬意し、スターリングラード市の陥落につき全國民が喪に服すため二月四日から六日に至る三日間全國の劇場、映畫館、寄席その他一切の娯樂機關も國民服喪の趣旨に基いて閉鎖、各新聞雜誌も以上の方針を遵守するやう指令した

赤機八百擊墜

【ベルリン三日同盟】獨軍司令部は獨軍が一月中に東部戰線で空中および地上で擊破した赤軍飛行機は八百十機に上る旨三日發表した、右のうち六百九十機は空中戰で九十九機は地上砲火により擊墜され殘餘は地上で擊破されたものであるが同期間に於る獨軍の損害は百九十九機である

羅、土バーター協定成る

【イスタンブール二日同盟】アンカラ來電＝トルコ、ルーマニヤ兩國間のバーター協定に關する協議は二日終了、近く正式調印を見ることになつた、右協定によりトルコはルーマニヤに對し棉花ならびにクレオソートを送り、これと交換にルーマニヤはトルコに石油を供給する

林銑十郎大將薨去

【東京電話】大日本興亞同盟總裁陸軍大將林銑十郎氏は一月十日胃腸障害のため卒倒して以來澁谷區千田ケ谷の自宅で療養中、同月十八日午後九時腦出血のため危篤に陷つたが、手當の結果少康を見出してゐたところ、四日午前十一時十分薨去した、享年六十八【寫眞＝故林大將】

林銑十郎將軍は南次郎大將の後をうけ第十六代朝鮮軍司令官として昭和六年から同七年に亘る二ケ年間在勤、滿洲事變勃發するや、九月十九日嘉村達二郎少將の率ゐる混成第卅九旅團及び獨立飛行隊を派遣し、次いで第廿師團混成第卅八旅團（依田四郎少將）を急遽派遣、勝鬪よく先制し戰果を擴張したのである、これが將軍に對する『越境將軍』の勇名をなさしめたものである、昭和七年一月四日には勅諭下賜五十周年記念事業として司令部內に記念庭園を造成した五條台がそれである、また同年四月二日には間島地方治安維持のため間島臨時派遣隊として池田大佐を出動させ、同方面を鎭定させるなど數々の功績を遺し半島ゆかりの將軍であつた

林大將略歷

林銑十郎大將は明治九年二月二十六日石川縣士族林孜々郎の長男に生まる、同廿九年陸軍士官學校を卒業、陸軍少尉に任じ、昭和七年陸軍大將に陞進した、その間參謀本部員、韓國駐劄司令部附、歩兵第五十七聯隊長、陸軍技術本部附、陸軍士官學校豫科長、教育總監部附、歩兵第二旅團長、東京灣要塞司令官、陸軍大學校長、教育總監本部長、近衞師團長を歷任し昭和五年十二月朝鮮軍司令官に親補され、昭和七年教育總監兼軍事參議官に補せられ、ついで九年一月齋藤內閣の時荒木陸相辭任の後を承けて陸軍大臣に任ぜられ、引つゞき岡田內閣に留任した、十一年三月豫備役仰付けられ十二年一月廣田內閣瓦解の後、組閣の大命を拜し、翌二月三日內閣總理大臣に親任され、外務大臣を兼ねた、在職四ケ月同年五月卅一日掛冠した、十六年大日本興亞同盟が結成され總務委員長に就任、十七年同同盟の改組と共に總裁に指名され今日に至る

叙位並に勲章下授

【東京電話】畏き邊りでは興亞同盟總裁林銑十郎大將危篤の趣き聞召され、同大將が多年軍務に盡瘁し、また內閣總理大臣として功績顯著なるを嘉せられ、四日左の如く叙位ならびに勲章下授の御沙汰あらせられた

陸軍大將從二位 林銑十郎
敍正二位（特旨を以て位一級進めらる）

陸軍大將勲一等 林銑十郎
授旭日桐花大綬章

七日興亞同盟葬

【東京電話】故林銑十郎大將の葬儀は大日本興亞同盟葬とし同同盟副總裁水野錬太郎氏が委員長となり七日午後一時から二時まで青山齋場で神式により執行される

東京空襲よりも反攻に全力
太平洋戰局と米の焦慮
ル大統領 歸還報告

【ブエノスアイレス二日同盟】ワシントン來電＝カサブランカ會談より歸還した米國大統領ルーズベルトは一日午後副大統領ウオレスをはじめ上下兩院の首領をホワイトハウスに招待して報告したが右會議に出席した議員の漏らすところによればルーズベルトは席上戰局の前途に關し次の如き見解を述べたといはれる

一、日本本土を空襲することは華しいことかも知れないが、米國としてまづなすべきことは日本の艦船を擊沈し、その飛行機を擊墜するにある、太平洋戰局は今や消耗戰の段階に入つた
一、戰勝を得るためには七百五十萬の陸軍兵力は是非必要である、一方海軍も二百二十萬の兵力を目標に擴充策を進めてゐるが、兩者合計すれば米國軍の兵力は約一千萬となろう
一、海外に派遣されてゐる米國軍ならびに反樞軸軍に對する補給に關し最も重大な問題は輸送の點にあるが、樞軸潛水艦の活躍は依然深刻な問題となつてゐる
一、カサブランカ會談に關しては、スターリン首相と蔣介石が出席しなかつたゝめ、反樞軸總參謀本部結成について何ら具體的決定は行はれなかつた

それらの議員連はルーズベルトから戰局の前途が必ずしも樞軸國にとつて有利だとはいひ難いとの報告を受けた模樣で、いづれも戰局の前途は遼遠かつ困難なるを强調し戰勝を得るためには國民生活に一層の犧牲が必要となろうと警告してゐる

阪大總長後任に 眞島利行氏決定

【東京電話】大阪帝國大學總長楠本長三郎氏は今回後進に道をゆづるため勇退、後任は同大學名譽教授眞島利行氏を起用し三日文部省より左の如く發令された

任大阪帝國大學總長 眞島利行
依願免本官 大阪帝國大學總長 楠本長三郎

國府最高國防會議開く

【南京三日同盟】國民政府は三日午後四時から汪公館に第四次最高國防會議を開催

一、華北政務委員會の內政、財務、治安、教育、實業、建設、各總署および政務廳官制暫行組織條例ならびに政務廳交通局暫行組織條例案
一、外交部機構の調整に關する外交部組織條例修正案
一、各地方に經濟局を新設する案ならびに經濟委員會委員追加任命、專門委員人事などを附議可決した

燃料自給自足の見込つく
加藤朝無常務談

【釜山電話】朝鮮無煙炭常務加藤五十造氏は採掘に對する資材配給について關係當局と折衝のため東上中のところ四日特急『あかつき』で歸任したが車中で次の如く語る

時局柄朝鮮無煙炭は軍需、民需を問はず各方面のお役に立つやうになつた、即ち戰時下重點的に配船される船舶をもつて自給自足の出來ることがなによりで今年に入つてからは一般需要家もこれが使用に研究を加へ、工場用ボイラ、煉瓦工場、製菓工場など各方面で使用するやうになり、無煙炭に對する認識が新になつてきた、鐵道でも廣範圍に用ひてゐるが、西鮮中央鐵道の如きは無煙炭だけで立派に機能を發揮してゐる、かやうに無煙炭だけで朝鮮の燃料は十分自給自足の出來る見込みがついて朝鮮の燃料問題は內地よりもどこよりも安定がついたわけである、一方採掘の方は時局に一歩先んじて諸般の設備を整へてゐるから需要には十分應じ得る用意は出來てゐるが、問題はこれを如何にして圓滑に輸送するかを殘してゐるだけである

消息

◇玉名友彦氏（京城覆審法院檢事長）八日『大陸』で赴任豫定
◇遠山秀道氏（朝鮮石油統制會社）

實践の人よ出でよ
高知事 道民總訓練を强調

道義確立の秋を目指して高京畿道知事は米穀供出、增産、貯蓄增强にと自ら陣頭指揮に起ち三百萬道民の決戰意識の昂揚に努めてゐるが、四日午前十一時道廳出入記者團との定例會見において約卅分に亙り當面の問題につき大要次の如く語り、道民の總蹶起に邁進すべきを强調した

食糧問題に就て

道内に於ける米穀の供出状況は非常に良好で割當額の十割を突破した郡も五指に餘り、棉の二千萬斤突破と共に全鮮一の首座を誇り得ると思ふ、農民の努力には感謝のほかはない、供出成績優秀者には明太或は海苔などを特配してその勞を犒はうと思つてゐる、道では雜穀の增産に力を入れ補足食糧の增産には大いに期待してゐるのであるが各家庭においても空閑地を極度に利用し一坪園藝の域を脱する努力をされたいと思ふ、種子だけでも約一萬圓分を配給する豫定である

道民總訓練に就て

本年は三百萬道民總訓練の年である、從來とても官公吏の指導者級或は農村に於ける中堅人物の指導錬成を行ひ着々その成果を見てゐるが、これに一層拍車をかけるため二月二十二日京畿道修錬道場を敦岩町に開所、道内府、郡面の官公吏を收容して十日乃至二週間の日程で指導者理念の培養と錬成を行ふべく準備中である

また現在議政府にある農民道場も農業技術の再錬成と農民道の確立のため收容員は修練に勵んでゐるが、これは現在の施設では狹隘なので大擴張をなす豫定である、これに關聯して楊州郡にある郡管理の農民道場も來年度には道に移管して部落指導者の錬成に萬全を期すと共に、都市にあつては商工組合の理事或は各學校長などを集め戰力增强をめざして一大指導者會議を開きたいと考へてゐる

道義實踐と錬成

錬成の要は人にあるので、指導者にあつては其指導者としての適確を缺いでゐては到底錬成などは及びもつかず何事にもあれ不平といふものを云はざることを第一要諦とする、先達も京城の各中等學校に出かけ生徒を前に道義といふものを說いて來たが、これは各校長においても生徒の父兄と膝を交へ決戰體制への心構へを練らなければ徹底したとまでは行くまいと思ふ

錬は熱い中に鍛へるに如かずで指導者の錬成に當つても學歷、地位、名望とかいふものを道場に入所する前に一應取り拂ひ精神的に素つ裸になつて修練せしむれば軍隊におけるが如き完璧の錬成が出來得ると思はれる

今年は道義實踐の年であるが私は聲を大にしていふ即ち『實踐の人出でよ』と、かくてこそこの決戰を乘り切り得ると信じてゐる

謳はれた〃越境將軍〃
在鮮當時の林大將の横顏

林大將が亡くなつた、あの有名な〃越境將軍〃の異名と古武士然たるあの口髭とで、半島二千四百萬同胞にとつては最も身近な人だつた、滿洲事變勃發當時朝鮮軍司令官であつた林大將は陛下の混成旅團一個を新義州に待機せしめて中央の意嚮を待つたが容易に命令が來ないばかりか現地の事態はますく急を要するので『よし責任は俺が負ふ』と鮮滿部隊を奉天に進發せしめた、この獨斷專行ののち大將は『中央の命令を待たずして陛下の軍隊を動かした罪は大きい、お咎めあらば屠腹せん』と死裝束に身を固めて官邸の居室に閉ぢ籠つてゐたのだ、職務の爲にでもありさうなこの毅然たる武士魂こそ大將の眞面目であり、若い軍人が大將の馬前に斬死せんと勇躍したのも當然のことだといへよう

陸士第八期生の巨頭として〃西鄕第二世〃と謳はれた大將の人格は全く高潔、總理大臣拜命當時、私財僅か一千三百圓と傳へられてゐるほど一身を省みず御奉公事一に生きて來た人だつた、陸軍大臣、總理大臣と滿洲事變から支那事變に至る狂瀾怒濤の時期における日本を背負つて起つた大將は昭和十二年五月掛冠、その後は國内の興亞運動の急先鋒となつて大東亞共榮圈指導に挺身、興亞同盟總裁として新秩序建設に重要な役割を演じつゝあつた、國内にあつては重臣、大東亞にとつては貴重な指導者を失つた痛哀は大きい、大將が朝鮮軍司令官として在鮮のその頃を偲び、その訃を惜しむ人々から大將の豐かな人格の一端を伺つてみよう

温情掬すべき人柄
訃報に驚く木下斗榮大佐

林銑十郎大將が朝鮮軍參謀として來鮮した卅數年前から私淑、爾來親交のある中樞院參議陸軍大佐木下斗榮氏=惠化町五ノ一五=は林大將の訃報に驚愕しながら次のやうに人間將軍在鮮當時の面影を追ひつゝ語つた【寫眞=〃人間將軍〃林大將を語る木下斗榮氏】

私が大將を初めて知つたのは今から卅數年前、當時騎兵少佐であつた閣下が朝鮮軍參謀として來鮮されたときでした、私は當時大尉で舊韓國軍隊に奉職してをつたものです、林大將は温厚篤實な方で人に接するときは決して藤日向をつくらず胸襟をひらいて話すといつた、どこまでも相手を信賴させる方でした、その後私は關東軍の囑託として滿洲で御奉公をしたが、當時陸軍大臣として來滿された大將はお迎へしてゐる私の傍に來られて『やあしばらく『元氣ですか』などと全く官職を超越して昔ながらの温いお言葉をかけられて感激したものです、半島人では軍人以外にも故朴泳孝侯爵や韓相龍さんなど非常に親しくして戴いてゐました、これは先年お逢ひしたとき大將から直接伺つたお話ですが、今年たしか九十歲になられる母堂がをられる筈です、大將は『遠い所へゆきたくとも母と離れるのが心配でゆけぬ』などといはれたことを記憶してをります

現下の國家情勢からみてもあの方は、もつと永く生きてお國のため盡して戴きたい方でした

非常な部下思ひ
薨去を悼む井口さん

林銑十郎大將がかつて朝鮮軍司令官時代永年同官邸に奉公してゐた井口トメさんの夫、龍山憲兵隊刑事部長井口眞直氏に逝去の悲報を齎せば、沈痛の面持ちで〃人間林大將〃ありし日の面影を偲んで次のやうに語つた

一月廿五日、閣下危篤の報を受けた私の妻は、いま京城にをられる加藤倫子さん(林大將長女)と一緒に見舞ひのため東京に渡りましたが、たうとう亡くなりましたか、閣下は三軍を叱咤されるだけ嚴格峻嚴そのものゝ方でしたが、その反面、部下の者に對しては非常に氣を配り部下思ひは有名でした、友情には人一倍厚く閣下がまだ中尉の時に中學校時代同窓だつた或る友人が生活に窮してゐるのを見かねてその面倒を見てやつたことがありましたが、さういふ人情話は枚擧に遑がないほど耳にしてゐます、友人に限らず馬丁、召使に至るまでどんな下の者でも厭はず面倒を見るといふ義俠心に富んだ方でした、また閣下の親孝行といへば知らぬ人がないほど有名で、閣下は朝鮮軍司令官時代でも毎日出勤の時と邸に歸られた時は必ず母堂の前に手をついて挨拶され夕食後は珍しい世間話や新聞雜誌などを讀んで聞かせて母堂を喜ばせてをられましたが、これには全く側近の者も敎へられるところがありました、典型的な武人で趣味としては專ら刀劍に關心を持つてゐられたやうです、また一面くだけたところもありました、宴會の際に『閣下、一つ何か隱し藝でも…』と側の者が所望すると氣輕に浪花節の一くさり位は出されるやうな粹な方でした、謠は仲々熱心でした、[illegible]てゐたところから自然とあの悠揚迫らぬ風格が備つて來たのでせう、書道なども專門家が及ばないほど達筆で、これも若い時から毎日定まつて五六枚の淸書は缺かすことなく續けられた努力の賜でせう【寫眞=井口部長】

敵擊滅の魚雷に
相踵ぐ府民の鍮器獻納

〃どうぞこの火鉢と盥を敵米英擊滅の魚雷としてお役に立てて下さい〃と京城南山町二ノ三五山本ソノさんが四日朝、海軍武官府を訪れ、見事な眞鍮製火鉢と盥を獻納した、また山本さんの孫娘茂子さんは十錢白銅貨、一錢銅貨で金卅一圓九十錢を同樣獻金、この日朝鮮銀行理事櫻井秀次郎氏は鍮製の見事な花瓶を魚雷の一部にと海軍武官府へ獻納して松本大佐を感激させた【寫眞=獻納品の山】

拜見・〃われらの錬成〃(一)
敬虔、食事の祈り
專賣局工場の巻

彩色の作業服に純白の作業帽を頭にのせた專賣局京城仁義町工場の女子職工百餘名が、三名一組づつになつて靜に食卓に着く、一齊座の揃つたところ『默禱はじめ』の號令一齊、百餘名の女子職工たちは食卓に對して合掌する、スチームの通つた暖い食堂には聲一つ動かない、靜寂、淸潔、正に禪堂を想はしめる一分間、じーんと眼頭が熱くなつてくるほどだ

兩眼を閉ぢ口を結んだ女子職工たちの、あの顏もこの顏も固し難い敬虔味に溢れてゐる、何を想ひ、何を禱するか—言葉にいひほぐしたのでは大したことでないのかもしれない

『直れ』と聲がかゝる、兩手を膝の上に戻して靜し

『いたゞきます』

口を揃へて唱へてから初めて食事にとりかゝる〃かけうどん〃一杯

一、傍目をしないこと
一、食事中は絕對に話をしないこと

これが同工場の『食事訓』である

……◇……

無言の食事—しかしこれも聞けば苦痛ではない、否むしろ今日も無事に食事の頂けることに對する感謝の思ひで、どんな物でも美味しく有難く頂ける明日も昨日のやうに食事が出來るとは限つてゐない、今日この時の食事の頂ける有難さ、その『有難さ』こそは錬成の賜なのだ

晝食時間卅分、食べ終れば各自が炊事場で食器を洗つて片附ける、明日はまた誰が食べるか分らない食器だ、自分も氣持よく食べたいと思ふ心が食器を綺麗に洗はさせる、そこに錬成の賜がある『食事訓』は專賣局男女五百餘名の職工にかく訓へるのだ【寫眞=專賣局仁義町工場女工さんの食事の祈り】

白銀の體育祭典
神宮雪上大會開幕

【日光電話】銃後半島人の逞しい冬季錬成譜、第十三回明治神宮國民錬成大會冬季スキー大會は四日午前九時奧日光湯ノ平スキー場で盛大な開會式によつて幕を開き四日の陽切つて落した

この日午前八時役員選士一千五百餘名は會場入口湯本溫泉、湯ノ平スキー道路に集合、大會旗を先頭に國體指揮者役員團に[illegible]つゞき陸軍部隊選士および各府縣代表選士の順で會場北入口から入場、行進を廻し會場正面貴賓席前に整列

定刻午前九時開式、厚生省鍊成官の開式の辭につゞいで兜山登(東京)兩選士によつて國旗が掲揚され、やがて榮光の選手滲木文雄君(北海道)の捧げる聖火の旗が全員最敬禮のうちに正面壇上に奉持され、宮城遙拜、君が代奉唱、明治神宮遙拜、祈念默禱ののち厚生省錬成課長會長式辭(宮岡錬成課長代讀)があつて關戸力君(北海道)選士を代表して宣誓を行つた

つゞいて中村人口局長より明治神宮お守りが傳達され、かくて全員敬虔裡に聖火の旗を奉送、同九時半式を終了、いよく十時卅分、國鐵名古屋鐵道局走者名古屋鐵道局チームが出發點から白銀を蹴つて出發、熱戰の火蓋が切られた

輸送は計畫通り
第一線視察の 山田鐵道局長語る

【釜山電話】輸送狀況の視察、第一線に活躍する鐵道戰士の督勵ならびに陣頭指揮のため在釜中の山田鐵道局長は四日朝出發に際し釜山鐵道ホテルで次の如く語つた

釜山は大陸の玄關として計畫輸送上最も重要なポストであるから徹底にわたつてつぶさに視察したが、第一線自從事者の努力により輸送は計畫通り順調に進んでゐる、自分としては非常に心强いものを感じた、列車の遲延は鐵道自體に原因するものもあるが滿支方面から持込まれた原因が多い、しかし外から來る原因だから仕方がないではすまされぬから全從業員を督勵した結果最近では大部取戾したと思ふ、滿洲事變の朝鮮向け輸送も一〇〇パーセントとはいへないが大體計畫通り進んでゐる、決戰第二年の半島の鐵道要員である鐵道局でも全職員に對して皇道精神ならびに輸送戰士としての決意を新たにする錬成を行ふため目下諸般の計畫を樹立中である

成績極めて良好
在内地半島人志願兵の銓衡
海田大佐、釜山で語る

【釜山電話】内地における半島人志願兵銓衡のため東上中の陸軍特別志願兵訓練所長海田要大佐は四日特急『あかつき』で歸任したが機上で語る

東京は廿一、廿二の兩日、大阪は廿四日から卅日まで一週間に亙つて銓衡したが本年は昨年に比較して志願者も倍以上で、徵兵制實施を前にして在内地半島靑年の皇軍熱たるや實に熾烈なものがあつた、成績も非常に優秀で東京では中等學校以上の出身者が相當數に上つてをり、體格も優秀で合格率は朝鮮と略同率である、合格者は來る六月、十二月の二回に分けて朝鮮のものと同時に入所させるが、いづれも輝く入所に待機してゐる

面書記試驗
十二日に施行

【伊川】郡では管下各面に採用すべき面書記資格試驗を來る十三日より二日間に亙り施行するが、受驗資格者は試驗當日迄年齡滿十八歲以上の者にして郡内居住者たること、受驗科目は國語、算術(珠算)作文、書方、公民科、口述試問等にして受驗志願者は當該面事務所を經由し郡守宛願書を差出し受驗前日午後五時まで郡に出頭の上、受驗票を受領することになつてゐる

けふは節分
京城神社で豆撒き

〃米英擊滅、東亞建設の〃豆撒き〃で賑ふ恒例の節分祭行事は京城神社で四日午前十時から節分祭を執行、午後七時から節分追儺式に氏子總代多數參列、祝詞奏上につゞいで選ばれた歲男五名が昔ながらの豆撒きの行事に賑ふ

清津の火事 【清津電話】

三日午後七時ごろ清津府港町北鮮自動車株式會社の修理工場に積まれた自動車用の木炭およびカーバイトより發火、同工場一棟を全燒し猛火は隣接の本社に燃え移り自動車倉庫の屋根を焦いて同八時半鎭火した、附近には府廳土木出張所、專賣局出張所、郵便局、商工會議所などの建物があり一時は混雜を呈した、原因損害目下取調中

〃黑い太陽〃あすお目見得
京城では午前七時卅二分から

宇宙の神秘—『黑い太陽』部分日蝕がその怪奇な姿を地球上に顯はせるのはいよく明五日に迫つた、天文學界はいふに及ばず、科學界その他素人の方面からも手ぐすね引いて觀測の準備が進められてゐるが、この日蝕について氣象台堀田京城出張所長に說明して貰はう

この皆既日蝕が全部見られるのは沿海州から北海道へかけて北の方面だけで、朝鮮では日の出のときから缺けたまゝ出て來るのです、京城、仁川は大體八分位の日蝕が見られ、元山が八分五厘の日蝕で最高です、京城では七時卅三分の日の出で、元の通りになるのが八時卅六分ですから約一時間程の經過が見られる譯です、この日蝕を素人でも容易に見る方法はなるべく濃い色硝子を用ひると好いのですが、最も手近な方法は普通の硝子へむらのないやう墨を塗るか、或は油煙でいぶして見ると像がはつきりと映つてよく見えます、これを見落すと今後九十二年間は日本では絕對に見る事が出來ません

上　ここまで缺けたまゝ日出　京城　復圓 ここから元に戻る

けふの市況(四日)
株式 弱含み 新鐘拂込か

前引 さすがの買氣も漸く買疲れ模樣となり、いまゝでもつともよく買はれた不二越、大阪金屬、大日本内燃、神戶製鋼、兵器、川崎重工、川南、三菱重工などの重工業株が軒並一圓方下押し、高いものなしといふ場面であつた、しかし鮮内株では鮮銀、殖銀がヂリ高を辿り岩村四十六圓七十錢と五十錢方引締め、その他は電力株、小林鑛業など一服、朝鮮製鐵は軟調を辿つた、なほ短期は新東八十四圓五十錢、新鐘七十六圓八十錢、高周波五十圓十錢といづれも弱含みを示し、北鮮紙は三十九圓と大きく割込んで一圓方下押した

後場 (反撥)新鐘の拂込徵收說を傳へて同株の約二圓方上放れたのを動機に新東も一圓五十錢方の追隨高を演じ、その他も概ね反撥歩調に轉じた

〇、三▲龍工新三四、〇〇▲朝陽一〇、〇〇▲岩村四六、四—二▲小林七〇、二—七〇、〇▲日本鋼管新四二、七▲昭和電工八二五▲川南新七七、三—六、八▲三菱重工新五五、〇▲不二越新五〇、五—八

……鐘淵デイゼル一分增配買ひ……

鐘淵デイゼルは六十四圓と前日と變らずながらここ數日間に約四、五圓方の値上りを示したので一般から注目の的となつてゐる、同社の前身は日本デイゼル工業でこれが鐘紡に買收されたもので市場に御目見得してなほ日は淺いが、事業はクルップ・ユンカースから特許を得た高速デイゼル車である、ガソリン車に比し牽引力が强いこと、燃料費の低廉なことが特徵である、製品は全部特殊筋に納入され、今期はいよくフル操業を行ふ事情にある、目下市場に傳へられてゐる材料は現行七分配當を一分增配が見越されるとともに近く鐘紡と合體するのではないかといはれる、いづれにしても鐘紡の重工業部門を擔當し當業者がよいだけに確投資向な買物が目立つてゐる

〔實物〕軟調

四圍の情勢惡化につれて嫌氣的な賣物嵩み大體において軟調を辿つた、しかし重工業株で將來膨脹發展性を見越されるものは下値には買物伏在し、賣物が一巡出盡せば再び買直されるものと見られる、主なる出來値左の如し

朝鮮水力衛三五、七—六、〇▲國産車二〇、四—七▲高周波五

鮮内主要株時價平均軟化
朝取實物部調查=

一月初め現在における鮮内主要會社五十九社、銘柄九十五種、一株當り平均五十四圓拂込時價平均は七十圓十六錢にして前月に比し二十六錢方軟化、これを前年同期に比すれば逆に十一圓三十一錢方の値上りである、その業種別左の如し(單位錢▲印安)

業種別	一月初め	前月比較
金融	七一、一九	▲一、二八
運輸	五八、〇四	〇、六二
電氣	八〇、七六	▲〇、四二
鑛業	五五、六八	一、三〇
製造	六四、一一	一、一四
拓殖	六八、八七	▲四、九六
雜業	六〇、四八	
總平均	七〇、一六	▲〇、二六

株式(四日)
朝取短期　東株短期　大株短期　東株長期　朝取清算と日歩　東株短期喰合　大株短期喰合

[illegible]

現株仲値(四日十一時調)

[illegible]

京日特選 高段者勝拔戰
第八回(圖は前局9二歩迄)
先番 七段 △建部和歌夫
五段 ▲市川一郎
持時間 各六時間

▲市川氏 持歩

木村名人講評

後三國志
淮河の水上戰(一)
(68)　吉川英治作　矢野橋村畫

ある兄の子であり、また兄の家、孫權にとつて甥の孫昭は、兪氏の相續人であつた。だから彼が死罪になれば、兄の家が絕えることにもなる。

身は吳王の位置にあつても、軍律の重きことばかりは、いかんともし難いので、孫權はそんな事情まで語つて、徐盛に甥の命乞ひをした。

『大王の御顏に免じて、死罪だけはゆるしませう。しかし罷役あらためて斷するかもしれません。それだけはお含みおきを』

王の言葉に對して、徐盛も讓歩せざるを得なかつた。孫權は、そばに居る甥にいつた。

『都督にお詫をいへ。謝罪せい』

すると、孫昭は昂然として、

『いやです!』

と、首を振つた、そして、反對に聲をあらゝげて、

『臆病極まる都督の作戰には、今後とも服しません。私が從はないのは、軍律に反くかも知れませんが、吳國の爲には、最大な計であると信じてゐます。この忠魂、何ぞ死を怖れんやです。まして初志を曲げることなんか嫌なこツです』

と、睡するやうに云ひ放つた。

この强情には、吳王もあきれ果てたものとみえ、

『この我武者め。徐盛、もうふたたび、こんな我儘者は陣中で使つてくれるな』

と、居堪まれなくなつたやうに馬へ乘つて宮門へ歸つてしまつた。

すると、その晩。

『孫昭が部下三千を連れて、勝手に兵船を出し、江を渡つてしまひました』

といふ知らせが、徐盛の所へ來た。

『ちえツ。遂に、駈け出したか』

徐盛は憤怒したが、さりとて見殺しにもできない。で、俄に、丁奉軍四千を救援として、追ひかけさせた。

その日、魏の大艦船隊は、廣陵まで進んでゐた。

先鋒の偵察船は、洞流を出て、楊子江を窺つたが、水漾々たるのみで、平常の交通も絕え、一小艇の影も見えない。

曹丕は、聞くと、

『或は南岸の吳軍に企圖するものがあるのかも知れない。朕、親しく大觀せむ』

と云つて、[illegible]から長江へ出し、[illegible]南を見た。旗艦の上には、[illegible]